

1. 件名：「日本原燃(株)の設工認申請に係るヒアリング(再処理施設(2-116)、
廃棄物管理施設(91)、MOX燃料加工施設(2-74))」

2. 日時：令和5年11月8日(水) 10時30分～12時20分
13時30分～16時40分

3. 場所：原子力規制庁 10階会議室 (TV会議により実施)

4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部

核燃料施設審査部門

(原子力規制部新基準適合性審査チーム)

古作企画調査官、大橋上席安全審査官、大岡主任安全審査官、岸野主任
安全審査官、羽場崎主任安全審査官、藤原主任安全審査官、新井安全審
査官、小野安全審査官、上出安全審査官、山口係員、横山原子力規制專
門員

日本原燃株式会社

再処理事業部 新基準設計部 部長 他3名

5. 要旨

(1) 日本原燃株式会社(以下「日本原燃」という。)からの令和5年11月2
日、6日及び7日の提出資料に基づき、以下の事項について確認を行った。

- ・ 重大事故等対処設備の設計に係る要求事項の整理
- ・ 竜巻防護に係る評価要求と構造設計等の設計項目の整理
- ・ 竜巻以外の外部衝撃防護に係る評価要求と構造設計等の設計項目の整理
- ・ 溢水防護に係る評価要求と構造設計等の設計項目の整理
- ・ 構造設計等の設計項目の整理方針

(2) 日本原燃から、主に、以下のとおり対応する旨回答があった。

- ・ 重大事故等対処設備の設計に係る要求事項の整理については、設計基準対
象施設の要求事項との関係や要求事項の類型を改めて整理するとともに、
これら整理結果の展開が明らかになるように、今後の作業ステップを含め
て全体像を整理する。
- ・ 構造設計等の設計項目の整理については、設計項目間の紐付けや各設計項
目から具体的な構造設計等に展開する際の留意点をガイド等で明らかに
することにより、各条文で平仄の合った説明ができるよう整理を進める。

6. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

7. その他

提出資料

なし

参考

- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000120.html
- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000121.html
- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000122.html
- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000123.html
- ・ 日本原燃株式会社 高レベル放射性廃棄物貯蔵管理センター 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）
「日本原燃（株）から特定廃棄物管理施設の設計及び工事の計画の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000124.html
- ・ 日本原燃株式会社 MOX 燃料工場 規制法令及び通達に係る文書（令和5年2月28日）

「日本原燃(株)から再処理事業所 MOX 燃料加工施設の設計及び工事の計画の認可申請を受理」

https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/FAB/180000242.html

- ・ 日本原燃株式会社 MOX 燃料工場 規制法令及び通達に係る文書（令和5年2月28日）

「日本原燃(株)から再処理事業所 MOX 燃料加工施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」

https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/FAB/180000243.html

- ・ 令和5年11月2日

「日本原燃(株)再処理施設、MOX 施設、廃棄物管理施設の設工認申請に関する資料提出」

- ・ 令和5年11月6日

「日本原燃(株)再処理施設、MOX 施設、廃棄物管理施設の設工認申請に関する資料提出」

- ・ 令和5年11月7日

「日本原燃(株)再処理施設、MOX 施設、廃棄物管理施設の設工認申請に関する資料提出」

時間	自動文字起こし結果
0:00:00	公開しました。
0:00:02	規制庁山口です。それでは午前中に引き続きヒアリングをします。午後の
0:00:11	ヒアリングの資料についても午前中と同様ですが順番としてはSA、
0:00:18	竜巻、その他、
0:00:20	その他の金条文、あと溢水っていう順番で進めたいと思います。
0:00:27	すいません先に。
0:00:29	一応出席者が変わりましたので、俵さん見て、規制庁側の出席者の紹介ですが、本庁会議室から、
0:00:38	フジワラオノコヤマアライオオハシヤマグチ。
0:00:43	イトウとWEBからハバサキカミデキシノオオオカ以上になります。
0:00:49	あと原燃側は出席者の変更があれば紹介をお願いしますなければ結構です。
0:00:56	はい。日本原燃事務局中浜です。日本原燃側出席者で変更ございませんので、説明の方から開始させていただきます。はい。
0:01:05	規制庁沼口です。
0:01:07	いや、ナカノ午前中には多くの話はしてると思うんですけどか追加でまずSAの資料についてもし原燃側から何か説明があればお願いします。なければ、そちらから確認。
0:01:20	はい。与儀ニシダでございます特に説明ございません。
0:01:24	はい。規制庁の内村です。ではこちらからご丁重粹でしたので細かい点に、
0:01:33	SAの資料の
0:01:36	フタミで10ページ目。
0:01:41	等、
0:01:41	73番、36条の73のところなんですけども、
0:01:47	こちらでえっと、
0:01:49	地震のところの際、
0:01:52	と、あと竜巻火山カセというふうに
0:01:56	設計条件として整理されている。
0:02:02	ところで、紐づけている番号って、地震のところって、竜巻や火山とか、風、積雪とかとの整理と同じように整理されてますか。
0:02:23	はい。海野イシダでございます。そういう意味でここは、さらにケアが必要だと思ってます
0:02:30	竜巻とか受けがいるのでそちらに飛ばしてると思いますけど、地震は受けが明確にいない可能性もあるのでその場合は、

0:02:41	83 番とかD33 条に振るところに飛ばせば、1 年で 1 回できると思うのでその整理はさせていただきます。
0:02:50	規制庁の藤村です。はい地震のところは後での受けのところで、地震というものは明確に出てきていなかったのもので認識の通りかと思しますので整理をお願いします。
0:03:02	続けて、74 番のところなんですけども、
0:03:06	まず基本設計方針のところを見ると最後になお書きがあるんですけどこのなお書きって拾ってますか。
0:03:18	関本フジワラですわ。アオキはヒラノの考え方とかも説明して欲しいんですけど。
0:03:24	はい。まだ拾えてないですね。拾えてなくて、373 番等のコラボなのかもしれないし、もしくは、そうだなあ。
0:03:36	竜巻とか説明をしている自然現象に飛ばすところの頭にぶっ飛ばして、そこから展開するとかちょっとやり方考えます。
0:03:46	規制庁の藤丸です。はい。こういったて 2 分あったりとかする場合には、一つを何かピックアップできたからといって気を抜かずに、全体ちゃんと
0:03:57	基本設計方針で書かれているところがどういうところなのかっていうのを整理した上で、ひもづけなり、
0:04:05	関係性を整理して欲しいと思います。その 74 番なんですけど、その横を見てると人事所だけを拾ったふうなんですけれども、
0:04:14	冒頭宣言であるというふうに書かれている内容は、近隣工場の火災のところから、航空機落下まであって、それが紐づいている番号を見ていく。
0:04:25	と、呻吟とかの話も含めてで、
0:04:29	外部火災の 29 とかそういった点はありますけども、平っていう方で航空機落下ってヒライてます。
0:04:43	はい。弊社でございます航空機落下はですね以前も話した通り具体で出てこないところがあって、
0:04:51	どうするか悩みどころではあるのでちょっと考えますはい。航空機落下までそもそもここで半入れてしまうと受け帰りみたいに見えるので、
0:05:01	最初の何番だっけな。
0:05:08	31 番で話をしたら、結局素行で終わりということも進めてちょっとやり方を考えたいと思います。
0:05:17	清町の藤原です。はい。なので、後で出て、

0:05:21	場合とかをどう手当するのかっていったところの整理もきちんと検討いただいてどう表現していくかというのをやっていたのを考えていただけたらと思います。
0:05:34	続いて、このページの 85 番、
0:05:38	なんですけど、これもあの二つ文章があるもので、またの後の、
0:05:43	資機材の話で、
0:05:47	これって言えば二つ、冒頭 1000 件で 33 条というものと、冒頭宣言で 36、
0:05:53	-170
0:05:55	90、
0:05:57	5 っていうのがあるんですけど
0:05:59	これって何かどっち側になるのか、まずまた以降のところってどっちでやってるのか、説明しても、
0:06:16	はい、西浦でございます。はい。そうですね。
0:06:22	他のところの上位波及で考えなきゃいけない下位クラスとして考える資機材の話は 33 条。
0:06:37	1.2 の話になると、ここで言ってる 100 何十万かのところに飛ばすという整理で今んところ考えてます。とはいえ、そういう仕分けをすることがまずこの四角の中で、どこまでポイプ小学校ですけど、
0:06:52	読めるかっていうところの整理かなと思いますが、はい。
0:06:56	はい。規制庁の内村です。はい。午前中の大枠の話でも、どういったことを整理、
0:07:03	どういった内容を、
0:07:05	どこで展開していくのかみたいなのところの整理にも関係するので整理はいただきたいんですけど、その次の段階でじゃあそれをちゃんと次の展開というところできちんと開いているのかっていったところも含めて検討いただけたらと思います。
0:07:24	規制庁の藤原です。
0:07:26	あと、
0:07:33	あ、
0:07:34	瀬田内村です。
0:07:35	あとは、10、
0:07:38	12 だから、
0:07:39	もう大丈夫。
0:07:44	荷重の組み合わせの部分、184 番からとか始まる。
0:07:50	耐震関係の、
0:07:51	なんですけど。

0:07:53	この中で、あかんの話。
0:07:55	になったときに、
0:08:00	考慮しなければならない自然条件 185 番ですかね。この辺りって、ハゲ歌集の話だったり、適切な話が入って
0:08:10	けど、この辺、
0:08:33	はい、与儀西田でございます。ちょっと整理は進めますが、何ていうか 1 キロ。
0:08:42	耐震設計として考えなきゃいけないかざーと話と後は、
0:08:48	いわゆる自然現象とかで徳田システムとしての条件で組み合わせを考えなきゃいけないものを、
0:08:54	それをどう書き分けてどこでどう展開するかってところの、整理をした上で、ドそれぞれでどう書くかっていう話かなと思いますので、どこで何を出してるか、実際展開される先で何を語るかということも含めて整理をさせていただければと思います。
0:09:14	はい。規制庁の藤原です。
0:09:16	はい。同じような話が何個かこの可搬型の話とかのところだと特に出てきたりとかするので、その整理を検討いただけたらと思います。
0:09:29	続けて、午前中にお伝えしている通り後の方で展開すると言っていた情報の方はまだまだ市衛藤、結局 36 条との関係で、
0:09:42	あともう、
0:09:43	そう思いつつも、
0:09:45	今回の資料だと、かなり整理が追いついてない状況かと思っていて、設置要求と書かれていても、何も丸とか、括弧書きの文書ですらなく、全部が
0:09:59	しかないとかっていうところもあって、
0:10:02	例えば、
0:10:04	5 条、3026 条 33 条の、
0:10:08	2-1 から、
0:10:10	2-1-3 とかの辺りですね、この辺りとか、他にも山ほどあるんですが、こういう設置欲求とかって書かれているのに、何も横に並ばなかったりと、
0:10:21	いったところはこの後ろの方の、
0:10:23	部分の整理ではあったところですが。この状況で整理したというふうに出されて、
0:10:31	あと、そもそも整理して、
0:10:34	できてる状況って出してきた来てたんでしたっけ。

0:10:44	はい。与儀イセでございましたおっしゃっていただいているようにこのシートをまずどう使うかってところが、まずそもそも、
0:10:54	私の方でまず入口の考え方が、ちゃんと整理した上で、左右してもらってないので、
0:11:02	行き先がよくわからない状態にはなってしまうところだと思うので、このシートで何をしたいのか、やる、やる必要があるかも含めて、整理をしていければなと思います。はい。
0:11:17	結局目的を達成できるような形になってないのが実際だと思うのでそれは最初の要求事項を出すときに明確になってなかったからだと思ってます。
0:11:27	それでそこからまずはちゃんとやりたいと思ってますはい。
0:11:31	はい。規制庁の内堀です。
0:11:34	はい。このシートの修正とかも含めて検討される状況だと思いますので、整理をお願いしたいと思います何ので何を整理したいのかっていうのを、
0:11:44	念頭に置いて作業していただけたらと思います。あと1点だけ、
0:11:50	と、
0:11:51	分の
0:11:52	6の、
0:11:55	向上32条6条33条の73番とかなんですけど、
0:12:01	これは完全に小言なんですけど、
0:12:04	エクセルとかの整理をされたときに、PDF化するときには失敗してるのかもしれないんですが、文章としてミキれていて読めないところがある。
0:12:15	うん。です。これまで能勢氏、こういった表を整理されてる時にミキれていて、一番最後のページ、
0:12:24	次のページの最初
0:12:29	今の
0:12:31	安全にミキれる
0:12:33	状況だと思ってます。一応資料として、しかも、公開版とかで出してくる資料なので、ちゃんと読める状況のものを提出していただきたいと思ってるんですけど、認識いかがですか。
0:12:51	はい、宮西でございます。はい。それは大変、
0:12:54	申し訳ないです。はい。おっしゃっていただいたようにそもそもちゃんと見える資料じゃないと意味がないので。はい。公開ババも含めたチェックの段階で、よく今までもPDF化するときに見落としてましたパターンがよくあったところを正しく

0:13:08	そうだと思いますのはい。注意して、資料作成時には、展開したいと思いますはい。
0:13:16	藤原ですよろしく申し上げます。私からSAの資料では
0:13:36	お話ですけども、1点だけ確認したいんですけども、この資料の2ページ目の、
0:13:52	19番、36条の19番ですかね。
0:13:58	これで、
0:14:01	19じゃない、20番ですね。
0:14:04	20番の方で、
0:14:05	これ
0:14:07	航空機落下の箇所がバーになってるんですけども一応確率に影響がないということでバーにしてるのかなと思うんですけども、一応こう、
0:14:19	基本的な方針では航空機落下というふうな、向こうもあるので、単なるバーじゃなくて、補足と、こういったときは加えた方がいいかと思えますけどいかがでしょう。
0:14:31	はい、西浦でございます。はい。
0:14:36	あとコウコイケについては確かに全体的にどうケアするかを考えます。バーというよりはどこかで謳ってることで全体をカバーしているということで整理をしないとイケないと思えますので、そのやり方を整理できればと思えます。はい。
0:14:53	はい。
0:14:54	お願いします。
0:15:01	年超過ですとちょっと午前中の議論と、あとす、外部衝撃のグループ1の議論等も含めるんですが、
0:15:10	ここで整理されたものでDBに紐付けられて、DB側のグループ1で、杖Lavaで何か出てくるっていうもので、新しい
0:15:22	設計説明分類はないっておっしゃってましたけど、どんな感じで入って、
0:15:28	来ることを想定して今考えてますか。
0:15:33	はい、日本のイセでございますはい。まずそうですね。新しい設計説明分類が入ることは、
0:15:43	ないと思えますけど
0:15:46	どう飛ばすかは、ちょっと具体を考えなきゃいけないですが、結局は資料の2の八条のシート、例えばですね、設計の項目でいくと八条のシートと、
0:15:56	36条のシートで、どういう紐づけをするって36度のシートでどこまで書いて、

0:16:04	八条のシートでどこか、何をジョイントして、その設計項目に展開して割りつけていくかと、いうことだと思ってます。まず、
0:16:15	先ほどSAの方段階的にDBと紐づけて考えなきゃいけないと言ったのは、まさしく岩岡さんが言っていたように、基本設計方針との今コラボの仕方を考えてますが、最終的には資料2に行くと、
0:16:29	設計項目であたり設計説明分類のどこに何を割りつけてどう説明していくかところまで、答えをつけていかないと、資料にはつくれないので、そこまでのステップをどう作っていくかと。
0:16:42	ということかなと思ってます。それがやり方も含めて、私の方で考えてステップ区切って、ゴールはこれですと、それに向かってこういうステップでそれぞれ作った資料をコラボしてって、
0:16:57	最終的な形に落ち着けていきたいということを示さないと作業も進まないかなと思ってますんで、それを考えたいと思ってました。はい。
0:17:06	はい、規制庁課ですわかりました。いろいろ考えられているプロセスが理解しまして、今後の会合なんかで、まず設計説明分類設計説明グループを、
0:17:20	前回会合の改修みたいなことをやりながらグループ1に、徐々に移行していくと思うんですけど、どの辺でどういう区切り、
0:17:31	こう説明展開していこうとかそういう考えでありますでしょうか。
0:17:35	はい。乳井ニシダでございます。前回の進め方でこちらと私の方からお話したのが、
0:17:44	入れ替え会合で説明グループの、前回の会合の内会社へ行くその次の会合で説明グループ1という話をしたんですけど、
0:17:53	ノートは今の設計説明分類、設計項目のそのディー・ディー・エスのコラボがうまくまだ進んでないので、11月の会合は多分回目。
0:18:03	出せないだろうなと思ってました。12月の会合に説明グループ1再処理の分を出すのであればその時に、あわせてその前提になる説明グループはこういう区切りをしましたと。
0:18:16	前々回とか10月の会合で指摘をもらったものも含めてかつ、DBSAとの設計項目の比較表付けという作業もやった上で、こういうプロセスで最終的に答えはこうなってますと。
0:18:31	いことの説明をしようかなと思ってたところでした。はい。はい。そう。その方針で、特に問題は今は考えなかったんですが、先日、もう、
0:18:42	先週の進め方冷やを踏まえて、今週の進め方冷やで議論するとは思いますがその辺が、
0:18:54	もう少し明確になるように今週の進め方ヒラノ資料なんかにも、そ、そういうその展開の方法、方針を示した上で、スケジュール感なんかも、

0:19:03	記載していただきたいなと思う。
0:19:08	はい。弓削ニシダでございます。はい、承りました。はい。
0:19:12	それと可能であれば結構ですので、よろしく申し上げます。
0:19:26	はい。
0:19:27	専門員先生の資料については規制庁側から、
0:19:32	よろしいでしょうか。
0:19:38	藤。それでは、
0:19:40	次、次の資料に移りたいと思います。次、竜巻について。
0:19:46	について、
0:19:48	何か原点から追加説明ありますでしょうか。
0:19:53	日本原燃の石黒ですけれども、先ほどちょっと全体の午前中は全体共通的な話ということで、お伝えしてなかったのが1個だけあったので、お話ししますけれども、
0:20:05	前回の10月25の冷やで
0:20:10	この前の18日10月18に、現地確認、
0:20:13	いただいたときに、G. B2のスキーマーについて議論があって、その扱いについて引き取りますっていう話を、前回の、
0:20:24	ヒアリングでさせていただきました。
0:20:26	そこのスキーマーについてはですね、ちょっと改めて確認したところ、その足元にある隙間と合わせて、埋めるというような方針であったということがちょっと確認できたので、
0:20:39	そこについては対応さするという形になってるのでその点について今回資料何か入れるというようなことはしていないという、ちょっと事実関係ありましたのでそれだけちょっと
0:20:52	お伝えだけさせていただきます。説明は以上です。
0:20:56	エンチョー山口です。それじゃなくて常和から、
0:21:00	規制庁の荒井ですけど、今の話って、具体的に資料としては、多分今の資料では出てこないと思うんですけども、
0:21:09	どこの資料で反映とかってありますけど、共通の資料3とか、何ですかね。
0:21:22	日本への就労です。
0:21:25	そこについてはもう隙間が埋まるので、個別に埋めたという、
0:21:33	内容のものを記載することは考えていなかったっていうのがちょっと今の実態だったんですけど、ちょっとどのように表現するかについては、考えたいと思います。
0:21:44	そうですね。

0:21:47	午前中の議論を踏まえて、基本的には隙間を埋めるっていうのは何かしら書いて、それを受けて、資料 3 では、こういうふう隙間を埋めるんですよっていうのが、
0:21:58	出てくると思っていたのでそこで何かしら言及されればいいのかと思ってただけなんですけど、そういうイメージでもない、なかったってことですかね。
0:22:10	日本原燃の石黒でございます。資料 3 は、でき上がりのものを載せるものだと思っておりますので、
0:22:20	今般、やっている対策を、
0:22:24	一つ一つ説明するものではないのかなというふうに思っておりました。
0:22:29	なので
0:22:31	どうぞ。
0:22:32	埋めるという行為は実際あるんですけども、それは講師に則ってやっていることということなので、その方針をしっかりと記載させていただいて、具体については、
0:22:43	はい廣田さんその方針がどこかなんですよ。
0:22:46	9 ページで受けて 31 番で受けるんですかね。
0:22:50	それともう 31 番だとは 1 しか言ってなくて、
0:22:55	ここで全部をとっては言ってないから、それを、
0:22:58	34 番と書くんですかね。
0:23:01	日本原燃の石黒です。そうですね 34、35 を書きますってことなんじゃないですか答えは。
0:23:09	そうなんです、ちょっと資料 3 でっていうふうにおっしゃったので、おっしゃったので、ちょっとその前段の方針で書くというその具体的な方針というのは、石原さん言ってないと。
0:23:22	第 3430 号の箇所だという理解をしておく。
0:23:25	以上です。
0:23:35	はい。
0:23:36	規制庁穴井です。何か資料 3 の図とかで示したときに、何か防護版のつけ方みたいな多分構造設計なり配置設計で出るとあって、
0:23:47	それでそこに隙間のない構造って吹き出しがについてここなんだっていうのが、
0:23:52	多分そこに見えると思うんで、それが過去に開いてた子なんですっていうのは、説明できるんじゃないかっていう意図でお伺いしたんですけど、各校なんて他のこうしたっていうのは説明いらなくてその時言及してもらえ程度なのかなって思う。

0:24:08	日本原燃の中ですが、はい理解いたします。ありがとうございます。はい。
0:24:13	わかりました。
0:24:16	竜巻に関しては、
0:24:19	ちょっと
0:24:22	文言とかそういう細かいところも含めてなんですけど、ちょっと資料を作成する上で一番
0:24:30	見る側としては混乱する部分が、
0:24:35	ある、ある場合っていうのが1ページ目で、
0:24:39	1ページ目で、今回青く塗った真ん中の部分の1ポツの概要の一番下のところなんですけど、
0:24:47	類型化をしますってなったときに、共通する部分を抽出し、まとめて説明できる設計説明項目っていう、
0:24:58	何かまた新たな概念が生まれてるような表現があり、ただこれって、
0:25:04	初出箇所でここしかなくて、そういう固有名詞的なところで使っているものでもなさそうだなと思ったので、
0:25:12	こういう表現っていうよりは平たい表現で、
0:25:19	何々をする項目とかっていうふうな表現にさせていただけると混乱は少なくなると思いますので、作成する際注意いただければと思います。
0:25:33	はいすいません言葉の揺らぎがあったと今、認識しました注意したいと思いますありがとうございます。
0:25:40	続いては、
0:25:50	竜巻の、
0:25:54	添付の
0:25:56	ナンバー4と5ですかね。
0:25:58	3ページ目。
0:26:05	No.4については少し修正するっていう話で、ナンバー5の運用要求のところなんですけども、
0:26:13	ちょっと他の条文とですね、ここのメッシュの切り方が異なっていて、
0:26:20	例えば、水の方だと、
0:26:24	ナンバー3ですかね、ナンバー3D、この運用要求っていうのが、
0:26:32	その代替措置等々、
0:26:34	含めて、基本設計方針の一つの府1基本設計方針の中に入っていて、ちょっとこの切り方っていうのはちゃんと、条文間で統一していただきたいなっています。
0:26:47	特に
0:26:48	水の方だと運用要求がどこに該当するかっていうのが、

0:26:54	非常に見づらくなっているので、
0:26:57	どちらかというと竜巻側に合わせたほうがいいかなとは思ってるんですが、まずこの点についていかがですか。
0:27:08	はい、日本インダでございますはい。すいません第1回ん時にそれぞれ横並べて、
0:27:15	資料作ったはずなんですけど、結果こうなってるのはこちらの整理がうまくなかった結果だと思ってます
0:27:24	もともとこの下00資料の別紙に作る時も、設工認で展開しないといけないようなことと、
0:27:33	規程に球を預けるものっていうのをある程度分けて、整理ができればなと思って、ベースがおっしゃっていただいたように竜巻みたいなパターンがベースで考えてました。
0:27:44	ところまだ、それぞれの条文間での違いみたいのが残っている部分は直していければと思ってますはい。はい。
0:27:55	これって基本設計方針のメッシュの切り方なので、今やってる共通12のガイドにははねてこないっていう理解なんですかね。
0:28:05	弓削記者でございます。
0:28:10	実際設計項目を割りつけるときに、この文章のメッシュの区切り方じゃ割付が難しいなって思ったときに、もう茂呂跳ね返りがあるんですけど、あとは、ガイド、ガイドつつてもうちが作る資料なんで全体00も含めて、
0:28:27	そこも含めて、考え方をガイドに書いておくかって話ですね。
0:28:33	そこは資料館での展開も含めたフィードバックみたいのがあるものは、ガイドで整理しておく必要があるのかもしれない。はい。はい。
0:28:43	こういう各条文間で同じような言い回しとか運用要求に担保するさせ、担保させるような表現っていうのは、
0:28:51	共通ルールとして該当で示した方がいいのかなと思ってます。
0:28:59	はい、日本インダでございます承知しましたとはいえ一応言い訳をしておきますと、いろんなところの書き方は共通09とかですねいろんなところで、ルール化したです考え方を変え、
0:29:12	展開したんですけど、
0:29:14	その通りなっていないっていうのと、あとは会社を含め全体
0:29:20	MOXで第1回全部横並びとってやったんですけど、最初にはその通り展開できてないところがまだ残ってたりというのもあります。そこも含めてちゃんと展開ができるように、
0:29:32	横並びが図れるようにしていきたいと思います。なかなか難しいなと思ってたところでしたはい。はい。

0:29:39	そうですね。変なふうに展開すると、また設計項目がうまく注意されないとかって言い出しごっこみたいのが起きるかもしれませんので、
0:29:50	なるべくこういう共通的な部分についてはとかっていうふうな頭打ちをした方が、作業者も困らないのかなと思っています。
0:30:06	竜巻は、
0:30:11	10 番ですかね。次続いて 4 ページ目。
0:30:21	これって、
0:30:24	米のアオキで、
0:30:27	かなりにおける降下火砕物の重心粒子の衝突による影響っていうところってというのは、
0:30:33	8 条の火山からっていうところだと思うんですけど、ここで条文とかって明示しないでいいルールなんでしたっけ。
0:30:42	日本 4 年のインシドロですけれども。すいませんこれ
0:30:48	最後についてる
0:30:50	ページの 22 の別紙のところの、
0:30:56	先ほど午前中もちょっと触れましたけれども、都丸さんと他の条文の具体の設計を展開する場合ということで、展開先が、
0:31:05	※で書いたと。
0:31:09	なに何所っていうふうに、小記載っていうふうに書いてあるんですが、それが今書けてないという理解です。これは檀の 17 から 21 を受けて、
0:31:22	借りてるものなんですけれども、それが地域が必要だという認識です。おそらくですけど、
0:31:30	あとがき以外の
0:31:33	他のDBの整理もですね、
0:31:37	ここは共通して書けてないんじゃないかなというふうに思っておりますので、修正が必要という理解です。はい。
0:31:45	わかりました。ちょっと決めたルール通りに、やっていただくっていうのをまず、他の条文も含めて、水平展開をお願いできればと思います。
0:31:57	承知しました。はい。
0:31:59	あとはこの※の中で、
0:32:04	衝突による影響は次の文章の降下火砕物の粒子の硬度は砂利より低い特性を持つためっていうところってというのは、ここでこう書いてしまうと。
0:32:15	何か説明責任が、この部分に対する説明責任が発生するので、
0:32:22	この部分っていうのはどこで説明する。
0:32:27	ことになるんですかね。
0:32:31	左に包絡されるって意味だと。

0:32:38	日本原燃の石黒です。
0:32:43	ちょっとその辺は考えたいと思います。ちなみにこの記載は、後から出てくるその竜巻以外の外部衝撃の、21 ページのところに、
0:32:55	タダノ 107819、29 あるんですけど、と同じ記載をしております。どこでちょっとその説明責任を負うのかっていうところについては、ちょっと現在で調整したいと思います。以上です。
0:33:07	はい、宮部伊勢谷でございます。第 1 回的な添付書類でもしあのやりとりは、大体形はできてると思っているので、その誤解がないように書き方を考えます。おっしゃったように第 1 部にも降下火砕物自体の
0:33:23	粒子のコードが、非常にもろいということの特性は、火山側で書いてます。その上で、それを前提に、竜巻の方の粒子の影響に、立アノナりの影響の方で、設計は展開しますというところまで、
0:33:42	ナカムラで書いて、古野でそれは花山側で説明する範囲。
0:33:48	あくまで竜巻は火山から振られましたよ。だから、それも含めて、竜巻の、砂利側の説明をしっかりとしますということなので、
0:34:00	そういう経過た、飛ばし方がわかるように記載を間整理したいと思いません。
0:34:05	わかりましたじゃこの説明責任っていうのは、八条の火山側が請負うというところで、廃止そちらの記載。
0:34:12	の仕方どう、どこまで期待するかっていうと、こっち受け渡した時にそっちで示してるっていう書き方をどこまでやるのかっていうことだと思って、結構複雑になって、
0:34:23	くるイメージでもあるので、
0:34:26	ここでは単純による影響は包絡されるっていう表現でもいいのかなとかかって思ったんですけど。
0:34:34	はい。そうですね例えばその他、説明グループ 1 のその他の方の 20、
0:34:42	4 ページか 4 ページで、火山の話が出てきて、
0:34:47	赤田エンジニア、花山ワダ 22 ページ下、その他の方の 22 ページで出てきて、この
0:34:53	21 番とかに書いてある話は、これは火山側で責任を持つ範囲であるので火山側で角度で、なので、竜巻側で展開をしますよってところは、
0:35:06	火山で書いた上で、竜巻の方は単純に火山で、左の中で、降下火砕物の粒子の影響についてもいると言っているのもので、
0:35:17	ゆ左側の説明をここでは展開しますよということを受けた側として書けばいいのかなということも含めて整理をしたいと思いますはい。はい。
0:35:25	お願いします。
0:35:29	続いては、

0:35:31	ナンバー14 ですね竜巻の 5 ページ目で、
0:35:38	基本設計方針としては、タテアライの
0:35:43	竜巻防護対象施設、
0:35:46	というのが対象になっていますっていうところ
0:35:52	屋内機器配管のところこれが、
0:35:55	展開されているというところで、
0:36:04	例えば他、竜巻防護対象施設を収納する建屋の
0:36:09	設計について、
0:36:11	いうのは 15、16 で、
0:36:14	展開されているんですけども、
0:36:17	おそらく
0:36:18	ポツをふやしてですね。
0:36:22	1056 ではなくて、17 にも受け渡す必要があるのかなと思っています。
0:36:29	その内容としては気圧差による荷重っていうのも、
0:36:34	多分内部の施設っていうのは受けると思うので、そこが 14 の、
0:36:40	項目として、No.14 としては抜けてるのかなと思うんですがいかがですか。
0:36:52	伊波技師でございますちょっと石黒さんが説明する整理の仕方をちょっと考えなきゃいけないなと思ってるところ、これ全部に共通するんですけど、14 番で書いてる設計荷重括弧竜巻っていうの 2、
0:37:06	いろんなものが含まれているので、それをどうブレイクしたかっていうのと、関係で紐付けを整理していかないと、抜けが出ると思ってます。おっしゃっていただいたように、
0:37:16	建屋内の施設は建屋で守られるんで、建屋その他の設計方針に説明しますよと言って言ってるのが、14
0:37:25	で建屋に入った後は、建屋として見なきゃいけないものが 1516。
0:37:31	17、18 まで多分来るんですね。
0:37:36	そこをどうひもづけて展開してるかってのちゃんと頭で整理できてないと、こういうことになると思ってますので、その整理をしないとイケないかなと思ってます。
0:37:47	いや、だから、七、八っていうか 14 からきてるっていうのも含めて言うか言わない限り、
0:37:54	14 で振ってるのが誰かっていうのをどこまで認識して書いてるかっていうところが、ちゃんと整理できてないと紐づけが抜ける。
0:38:03	だけ。
0:38:05	すいませんでしたはい。以上です。

0:38:07	会田の通り、認識の通りだと思っているので、設計荷重っていう中に、多分例示として和気アサノある。
0:38:15	荷重っていうのもあるので、その受け渡し、
0:38:18	先等を飛ばし先と受け入れ側っていうのがちょっとこれは明示されていないっていうのを、
0:38:26	コメントとしてお伝えしたので、そこはちょっとうまく受け渡しができるように、整理をお願いします。
0:38:35	あ、そうです。そうしました。
0:38:44	あとは、
0:38:46	No.18 ですかね。
0:38:50	ナンバー186 ページ目なんですが、開口部の設計物のヒライ、設計飛来物の侵入の、
0:38:57	話で、
0:38:59	衛藤オク名雪配管のところではイセ0 配置設計というところで、
0:39:05	3 行目の建物構築物の配置により、設計飛来物の衝突を防護する設計って書いてあるんですけど、
0:39:17	ここって、建物構築物ではなくて、屋内機器配管の配置の間違いなんじゃないのかなと思ってんですけどいかがですか。
0:39:34	イメージとして、はい。
0:39:38	中のです。すいません。この記載の意図だけでいうと、
0:39:44	タテコウノ大河内 キクチの配置という一応意図で、実は書いていて、
0:39:50	それが右側の建物構築物の、
0:39:54	はい。これ違うか。
0:39:58	またここで、その背景という理解をしております。多分あれですねイシハラでございます建物構築は、2、
0:40:09	今 38 番の下側のポツで、開口部の位置だけじゃなくて、内壁の位置も書いてるけど、ここに屋外機器の配置を示すんだったら今でもいいんですけど、
0:40:21	オクノ駅の配置はあくまでどこで示すんだっていうと、上で示すんですよ。
0:40:28	聞き置かないできて配管まで示すんですよ。
0:40:33	人間のイングリです。その通りでして、
0:40:36	その下のポツのところ、屋内機器配管のIT情報を示すという、
0:40:43	もう記載しているという、
0:40:44	意外でしたらば、いや、だから建物は、はい。構築物の配置によりっていうのが何を指してるかですねそうすると、

0:40:53	下のことによりっていう、うん。開口部の位置と、イシタで言ってる建物内の屋内機器配管の配置をコラボして、
0:41:04	飛来物の衝突を防護する設計って言いたいんだったらそれを全部書かないと意図が伝わらないかなっていう気はしますけど。
0:41:14	はい、桐原です。石原さんが今言った通りで、
0:41:18	建物構築物の配置って言われてしまうと、
0:41:22	この施設は、この建物はこの敷地のここに配置されているので大丈夫ですって言われても、はてなになってしまふんですねイメージとしては。
0:41:33	なので、機器配管の配置設計であったと、建物のこの位置に配置されるので、開口部からこれぐらいの距離があり、
0:41:44	なんていうか進入しても、当たりませんかとかそういう話はあるのかなと思ったんですけど。
0:41:52	日本原燃の石黒です。
0:41:55	はい。すいませんこの議論の
0:41:58	を通じて、問題点が明らかになったと思います。確かにおっしゃるように建物構築物の配置でいうと、
0:42:08	開口部から何か全然かけ離れた話にしているように言えますし、結局開口部の配置と、実際機能配置っていうところが、両方が相まって、
0:42:19	何ていうか設計として考慮するべきものだと思いますので、変に分けて、何かわからなくするよりははですね、ここはちょっと総合関係がわかるような記載に修正したいと思います。以上です。はい。
0:42:33	お願いします。
0:42:34	そういう意味だと。
0:42:36	開口部っていうの、これ前の面談も言ったと思うんですけど、
0:42:40	開口部っていうのがどれぐらいの
0:42:44	寸法で、飛来物に対してどれぐらい侵入を許容するのかっていうのがまずあると思ってるので、開口部の構造設計みたいなのは、
0:42:56	ないんですかね。
0:43:02	日本原燃瀬谷でございます資料に資料3を展開する時に個別方策とのコラボをどうするかだと思っていて、
0:43:11	木星第1回で確かに開口部の大きさだったり1だったり、屋内の機器の配置壁の配置等開口部との関係飛来物の侵入の、
0:43:23	可能性のあるエリアがどうなのかみたいなことを、全体説明してますが、そういうことを個別補足で説明することを前提に、資料3-2で、どういふことを、設計として説明するかと。

0:43:38	いうこと要は、建屋どこかをとって説明する。うんとは言いながら共通的な考え方を説明しないといけないので、
0:43:46	外構部との関係で、どういう設計を考えなきゃいけないのかっていう、担保要件みたいなものをざっと、価格のかなと思ってました。その上で、その舞台の話は個別補足で展開をして、全体セットで設計説明したという、
0:44:01	形に持っていくのかなということで思っていました。
0:44:06	うん。
0:44:10	要するに配置設計の中で、
0:44:13	もう少しブレイクするとおのずとそういうところは出てくるよねっていうのはですねはい。うん。
0:44:22	そうすると、この設計項目の整理ってどこまでやればいいのかっていうのは、
0:44:27	うん。ちょっとやろう。そうですね。はい。やり方ですけど、ここをちゃんと細かく書いていって、最終的に資料 3 とかに行ったときに、
0:44:39	個別の附属棟、要は、
0:44:43	資料 3 の中で書くことの仕分けだったり、代表としての選定の考え方だったりも含めて、整理をするのかなと。
0:44:53	共通的な考えで説明できるものはちゃんと説明をしつつ、具体どうなってるのって言ったら個別の補足に行けばその具体の配置だったり開口の大きさだったりが見えてて、
0:45:03	いうところで、とはいえそれをいきなり最初から仕分けができるわけじゃないので、ここでちゃんと書いた上で、最終的に資料 23 に持っていった時に、
0:45:14	ここまでは資料 3 の中で書きます、ここからはこれ教則にしますみたいな整理が出てくるのかなということでは思っていました。はい。
0:45:22	はい。
0:45:24	そうすると、個別補足への受け渡し方っていうのも、
0:45:32	概要とかではあった方がいいのかもしれないですね。
0:45:37	無理くり。
0:45:38	はい。
0:45:42	あ、はい。
0:45:44	そうですね。はい。特に、
0:45:47	いろいろな範囲を広い範囲を設計項目、設計説明ぶりか、コラボしている再処理は特にそこがないと。
0:45:57	作りづらいかもしれないですね。はい。
0:45:59	はい。

0:46:01	わかりました。
0:46:03	あとはその横の建物、
0:46:05	他の内容の確認なんですけど、フード等を設置する設計配置する設計で、このフード等っていうのは、建物構築物の一部になるんですか。
0:46:19	電力の石黒です。はい。構築物の一部という理解をしております。
0:46:25	そうすると、
0:46:27	建物構築物っていうのは、
0:46:31	竜巻の設計飛来物に対して、機械的強度を有する設計方針が、
0:46:41	特に安重建屋みたいな竜巻防護対象施設となる建屋には求められると思うんですけど、
0:46:47	この部位の機械的強度の評価っていうのは、どういう考え方でやろうとしているのかそれとも除外するのかっていうのはどこに示していますか。
0:47:12	宮城西田様でございます現状の整理でいくと15番に書かないといけないのかなとは思いますが。
0:47:22	イングロが建物の一部ですっていうのは確かに第1回の時、MOXでの大分事までの対象なんだっていうの特にMOXの第1回が建物が対象だったので、
0:47:34	風浪をであったり、
0:47:40	壁もとか社風等の構築物みたいな構造もですね、もともと、他の要求でついているものでも、
0:47:50	竜巻に対して飛来物の侵入を防止する時に期待できるのであれば、それを期待しますということで、ただ、対策設備と直すかどうかは、何の用途でついているんだということを前提に仕分けをしますということで整理をしました。ただ
0:48:06	例えば今のフードが必要な厚みを持ってなければ、答弁飛来物が入ってくるわけで、それでは何の期待にはならないので、フードがあることで、建物の中に侵入しないっていうのであれば、
0:48:18	呉自体にその一定の厚みがあること、材質が何だということも含めて、要件は必要になると思っておりますので、それをどこかで展開しないといけないということだと認識をしています。
0:48:30	はい。
0:48:31	なので、ここに書かれてしまうと、
0:48:36	フードは相当、
0:48:38	壁とか、飛来物防護盤と同等っていうところもあるのかなとは思っていますので、その受け渡しはしっかり明示し、整理いただきたいと思えます。
0:48:53	日本原電イングロです。承知しました。

0:48:57	はい。
0:48:58	あとは、
0:49:01	と、
0:49:05	17 番ですねその上の、
0:49:07	ここも前回の面談を受けて、システム設計っていうのを屋内機器配管に入れて、外気と繋がってる系統。
0:49:19	もうあるので、そこも、
0:49:21	報道設計評価の前提情報として必要だというところで、新たに入れても入れていただいたと思ってるんですけど。
0:49:30	ここに書いてある系統の設計情報っていうところの、この設計情報って、具体的に何をイメージしてるんでしょうか。
0:49:43	日本原燃の石黒です。ここ、
0:49:46	ここでは系統図を、
0:49:48	イメージしておりました。
0:49:50	はい。そういう意味だと、設計情報って結構広く読めてしまうような部分だと。
0:49:59	思っていて、
0:50:04	うん。
0:50:04	第 1 繋がっている系統の範囲だけであれば範囲って書いてもらったほうがわかりやすいのかなと思うんですけど、それ以外に、範囲以外の要素もあれば、ここで演技されていますっていう要素もあれば、
0:50:18	系統図ってそのまま書いてもいいのかなと思ったんですが、
0:50:22	他何か他の条文もこのように書いてるんで、
0:50:26	考え、書き方統一したりとかあるんですか。
0:50:33	よろしいですか。どうぞ。
0:50:36	石黒です。同じような記載で、
0:50:42	2%正しいかどうかおいといて統一はされておりますが、
0:50:46	確かに決定情報っていうと、何を指してるのかが明確なので、
0:50:52	もう少しアノマツオ絞って、イメージしやすい制度だけというふうに、
0:51:07	はい。
0:51:11	規制庁の有井です。
0:51:13	そのような整理でできるだけストレートにわかりやすいところで、なるべくこの部分等とか使わないとかっていうところもあるので、そういうような表現でお願いしたいと思ってます。続いて、
0:51:28	21 番。
0:51:30	なんですけど、
0:51:33	21 番は、竜巻、

0:51:38	防護対象施設等に波及的影響をおよぼし得る施設の設計というところで、
0:51:47	主にオクない。
0:51:50	機器配管の話で、
0:51:53	システム設計の中で、
0:51:57	波及的影響をおよぼし得る施設、括弧、機能的、
0:52:02	影響、
0:52:06	というところ。
0:52:09	屋外機器等、建物建物は機械的影響って書いていて、ここで機能的影響って何をイメージ接してるのか教えていただけますか。
0:52:20	日本原燃の石黒です。こちらについては、
0:52:24	いろいろ発電機の廃棄、ディーゼル発電機の排気管。
0:52:30	をイメージしておりました。
0:52:33	アキヤマにイシダでございます。
0:52:39	21番の基本設計方針の
0:52:44	MARUWAグループ呉と、当該施設の転倒開または転倒により、周辺の影響を及ぼさない設計とする丸までが、
0:52:55	機械ピッチ影響で、そのあとの当該施設が機能喪失に陥った場合に、機能喪失機能的影響でここから先が機能的影響で、これ
0:53:07	M0-A第1回的に括弧書きで書いたのをそのまま使っているの、ちょっと基本設計方針との関係がわかりづらいところはちょっと書き方を工夫するなりしたいとは思いますが、はい。
0:53:19	はい。そういう意味だと21番で、メッシュを二つに分けるとかっていう案は考えられないんですか。
0:53:28	表現で一緒でございます設計として説明するなら分けてもいいかなと思いますが当初考えたのは波及的影響として、他との関係からいくと、
0:53:38	メッシュが同じことを言っているただその見方を分けてるだけなんで、一つにしましょうかねと言って第1回の時は考えたというのがもともとの考えです。ただここまで来て、この設計項目を割り付けるとなると、
0:53:53	分けた方がいいかなとは思いますがそこはちょっと工夫が必要かとは思いますが、はい。なぜ、この作業をなかなかやりますって言わないかっていうと、偉い被害の時代で、
0:54:06	いろんな人、理解されるんで、はい。手伝うでいうと後でコウタテ樁がって、
0:54:11	悩んでいたところですか。はい。
0:54:14	はい。説明を聞けばわかるっていうところもあり、

0:54:21	具体的に展開する際に、これだけだと先ほどディーゼルの排気塔とかっていうところを、全然イメージが湧かなかったっていう事実もあったので、
0:54:31	またそういう気渡しがうまくできるような工夫も必要なのかなとは思いを持ったというだけです。
0:54:39	あとこの中の構造設計のところ、これ、
0:54:42	動きなんですかね、機能的波及っていうのは、
0:54:46	波及的影響各機能的波及っていうのは、
0:54:49	機能的、
0:54:51	今日、
0:54:53	沖ですね。はい。
0:54:56	はい。
0:54:58	大木ですすみません。はい。
0:55:00	わかりました。それで最後に評価の中で、波及的影響を及ぼすような変形が生じないことを評価するってなっていて、
0:55:09	さっきのディーゼルの排気塔みたいなのって、
0:55:14	イメージとしては、どのような、
0:55:18	評価をするのか。
0:55:20	及ぼすような変形とは何をどういうイメージなのかっていうのを教えてください。
0:55:28	江藤アビル日本原燃の石黒です。
0:55:31	ここで言う、
0:55:34	波及的影響を及ぼさない変形っていうのは、その排気が閉塞するような、
0:55:41	閉塞するような変形モード大きく曲がってきたことに、
0:55:48	というようなモードを考えていて、一方で飛来物であれば、荒学というような、
0:55:59	ものであればですね、廃棄することができるということで、
0:56:04	この両者をの違いを意識して記載しているものであります。
0:56:11	例えば主排気塔が竜巻飛来物でぶつかったとしても、
0:56:18	貫通しませんとかっていう評価はあると思うんですけども、
0:56:22	そういうのはある程度わかりやすい評価かなとは思っていて、変形を許容した場合にどれだけこういう変形をするかっていうのって、何か前例とかあるんですけど。
0:56:35	なんか当たり方も無限にあるような気がしてて、
0:56:42	こういうパターンの変形なら大丈夫ですって言われても、
0:56:45	何ですかっていう話に、今後の審査にならないのか、ちょっと不安なんですけど。

0:56:58	はい。日本原燃瀬谷でございますおっしゃっていただいていることは理解しながらも、そうですね。
0:57:06	第1回の時には同じような、機能的八級のは、知能的影響の話で、MOXでも、排気系の発電機だったかな。
0:57:18	話がありはしたんですけど、
0:57:21	僕の場合は廃棄管ができると出てるわけじゃなくて、開口になってて、外構の中がコンクリートの躯体になって、
0:57:30	いや遺物がⅢ、Ⅱクッションぐらいしないと、中にへこん引っ込んでいる排気塔にぶつからないような影響で、さらにそのⅡクッションしてぶつかっても、その勢いで排気塔がつぶれて、完全閉塞なんてありえないですよねみたいな。
0:57:45	構造と配置とセットで大分説明して、個別補足でやったんですけど、
0:57:50	そういう前提も含めた全体の流れを説明しないと、
0:57:55	駄目なのと、本当に外にむき出しになってるやつに対して、変形を許容した上で、どの辺形までしか来ませんっていうことを、
0:58:05	説明するのはなかなか難しいなという気はしますね。
0:58:10	はい。
0:58:11	なので先ほど廃棄孔の位置がある、躯体で囲まれてるとかっていう話であれば、
0:58:18	説明、
0:58:21	内容としては、そういうことなのでっていうのわかってくると思うんですけども、
0:58:26	ちょっとむき出しになった場合の評価って、いろいろ条件設定、
0:58:31	のやり方で、これのこのパターンなら耐えますっていうような説明。
0:58:37	なってしまう恐れが非常にあるので、ちょっとこれ、
0:58:41	抜き出し。
0:58:43	なのかどうかっていうところも含めてもう少し背景情報は、今後の内容詰めていく上で必要だと思いますので、材料の
0:58:52	説明材料の準備等もお願いしたいと思っています。
0:59:00	はい、日本原電インシグロです。
0:59:03	行きました。
0:59:08	はい。あとは、
0:59:11	あとは細かい点。
0:59:17	24番は、内部火災に振ってる部分があるんですけど、
0:59:23	内部火災の条文が八条ではないので、11条ではないのかっていう話。
0:59:30	なんですけど、
0:59:38	これは誤記ですかね。

0:59:42	はい、沖です。はい。
0:59:45	一条。はい。
0:59:47	あとは、26 番ですね、保安電源の条文はあるので、
0:59:55	はい。条文を書かせます。はい。
1:00:00	そういう細かいところはありませんと 31 番。
1:00:09	この配置設計、
1:00:17	設計飛来物が竜巻防護対象施設に衝突しないように、竜巻防護対策設備を設置する設計。
1:00:25	というところ。
1:00:35	屋外の、
1:00:37	冷却塔が主に竜巻防護ネットというところで、
1:00:43	防護されると思っているんですけども、
1:00:48	そこで、
1:00:52	はい。
1:00:53	木野。
1:00:54	ハイジっていうのはなく、
1:00:59	僕はNo.18 番。
1:01:03	も、
1:01:04	配置設計の前で、
1:01:14	19、すいません。
1:01:21	19 ですね内容はすいませんアノNo.19 で、
1:01:25	配置設計の中で、
1:01:28	配置情報、この屋外機器配管を示すとした際に、どの程度まで、
1:01:34	示すつもりなのかっていうので、教えていただきたいなと思ってるんですけども。
1:01:40	例えば冷却塔の
1:01:43	ファンとかがある躯体が、
1:01:46	そこにぽんと置かれていますっていうのと、
1:01:49	あと冷却水配管もあると思うので、その具体の設備等、その系統となる配管もあわせて、ここでは配置設計として示す予定で、
1:02:00	予定と考えていいですか。
1:02:07	40 年のイシグロです。これにつきましては
1:02:11	竜巻防護ネットで取り囲まれていて、その熱湯の
1:02:20	衝突させたときに
1:02:23	ネットで調べた想定したときに、大きいた部分がありますんで、その範囲内にあるっていうのを、がわかる程度。

1:02:32	いや志賀さんそうじゃなくて、第1回でも動いたんですけど、第1回も冷却と安全冷却水系。
1:02:41	冷却と言いやったんですけど、冷却塔って言ってるの頭だけなんで、そこに配管が建物に入るまで、屋外にいるんですよ。
1:02:50	そこは本当に運ばれてないので、そういうところを、設計上は、何らか説明をしないといけない対象物で、そこまで範囲にした1回やってたんですね。小他の冷却塔も同じように、
1:03:02	建物に入る前に、配管が外にいるやつとか、
1:03:07	地下に入ってるやつもあるんだっけ、その辺の配置を示さないと、設計対象が全部出てないって話になるんで、
1:03:18	はい設計でどこまでやるか、構造設計で対象物を説明するっていう手もあると思うんですけどその辺の、多分、全体網羅的に説明してくださいっていうのがアライさんの話じゃないかなと思います。
1:03:30	はい。
1:03:31	要するに配管が忘れ去られていないのかっていうところを確認したかったっただけです。
1:03:38	日本原燃石黒です。はい、理解しました。
1:03:43	配管でもう一部自分で守るものが、ネットのそれぞれは
1:03:51	必ずしもネットの中に入らなくても問題ないということを確認した上で書いてあるものありますので、その
1:03:57	その位置関係も含めて、示すものというふうに理解していますし、どこまでが防護対象で、どこまでが自分で守るかっていったところのまずまで、
1:04:10	説明するような形にしたいと思います以上です。
1:04:13	はい。
1:04:16	そうすると、確か新しく作った冷却塔って、配管は非常に厚みのある竜巻飛来物にも耐えうるものっていうところもあったと思うので、
1:04:27	そういうところはパターン分けして、示せるようにお願いしたいと思います。
1:04:33	今後ですね、今後の審査だと思うんですが、
1:04:41	はい、かしこまりました。
1:04:49	最後です。
1:04:52	29番ですね。
1:04:55	資機材の固定の話。
1:04:58	なんですが、
1:05:00	運用、
1:05:04	の、

1:05:06	資機材の固定固縛、
1:05:09	建屋収納までは、
1:05:15	他の項目で展開されて、
1:05:18	固定固縛は右側に展開されてるんですが、車両の入構管理とか対比っていうのは、どこで受けるんですか。
1:05:39	日本原燃の石黒ですけども、こちらについては、すいませんちょっと明示的には書いてなく、なくて運用の中での話かと思ってちょっとすいません。
1:05:52	現状、明示的には書けていないっていうのが実態ですので、
1:05:56	この書き方は検討させていただきたいと思います。宮井瀬谷です。牛尾さんはBでもう各運用要求って書いて、
1:06:05	この対比の話を書いてくれればいいのかと思いますけど。
1:06:12	了解です。
1:06:14	石原さんに確認なんすけど運用要求っていうのは、保安規定に定めるもの以外でも受け取れるっていうルールになってるんでしたっけ。
1:06:24	基本的にはこれ一緒です基本的にはこれ保安規定で受けるつもりなんですけど、これが27番かな、必要な機能を損なわないための運用上の措置で、
1:06:37	結果を保安規定に定めて管理するっていうのが、最初の
1:06:41	ウタイデ出しでして、この28ページ以降は、要は28番29番ですね保安規定で定めることが前提です。はい。なので、
1:06:50	全体は保安規定で定めるって意味お湯を書くということで考えてください。了解ですわかりました。じゃあここは普通に分けて運用要求っていう欄ふやしてやるのがいいのかな。
1:07:02	ただあれですよ。さっきの冒頭で言ったやつ。
1:07:06	溢水と竜巻整合とれてないっていった部分。
1:07:11	どこが保安規定で受けるかっていうのは、上に、
1:07:16	固縛個固定固縛っていうのは書いてあるんで、
1:07:22	基本設計方針をこの文章、
1:07:25	分けなくてもわかりますね。
1:07:27	すいませんアノことでした。
1:07:33	ソウノフジムラすみません。
1:07:35	さっき(29)番、建屋収納の話があるんですけど、これは、
1:07:41	右、
1:07:41	変えてる設置場所及び障害も考慮してみたいなところで受けてるってことなんで、

1:07:58	日本A社でございます。これはあくまで資機材等の固定固縛のやり方を、設計構造設計と展開する内容を書いているので、
1:08:14	その際の考慮として
1:08:19	すべてをがんじがらめにやるっていうのは、障害物とか設置場所を考えてやりましょうということだと認識をしておりますので、そのあとまたはあと建屋収納とか車両の自己管理及び退避までは、
1:08:33	運用要求の中で、管理をするのかな、そのこのコラボの関係がちゃんとわかるようにしないといけないかもしれませんはい。
1:08:46	収納とかは別に配置設計とかで各運用と鹿庭せずに、
1:08:50	もう運用要求っていうふうにしちゃうってことで、
1:08:55	はい、与儀西田でございます。
1:08:58	あくまで資機材ですし、ここで言ってる資機材って本当の工事用の資機材みたいなものを対象にしているの、そこまで設計を何か語ろうと思ってなかったです。はい。
1:09:10	九州のオチアイですか。
1:09:15	寺井君と建物構築物のところって文章を全部一緒なんですけど、これって特に、
1:09:20	とかはいらない感じなんですかね。
1:09:24	はい。日本インダでございます。逆に言うと、ここに資機材等の話を一般論の話を書く時にわざわざ設計説明文に割りつけるかと言われると
1:09:35	この後、資料二、三でどう展開するかを考えなきゃいけないですけど、どれか代表を決めて書くか、もしくは、今の段階では帯にしといて全部結合して書いて、
1:09:48	資料2の段階で誰に預けるかっていうのを考えるっていう、ちょっとやり方を間いろんなやり方があると思いますけど、
1:09:55	同じ日本語であんまり差別化もするつもりもってか必要もないですし、一番トップバッテリーで出てくる屋外機器配管のところに書いていて他は以下の部分なのかなという気もしてます。はい。
1:10:09	議長。
1:10:11	資機材の話なんでっていうことで検討していただけたらと思います。
1:10:21	竜巻は、
1:10:24	ほか、
1:10:25	あればお願いします。
1:10:27	清町オカです。先ほどちょっとアライとの議論で気になった点がありまして、
1:10:35	9ページ目、ナンバー31の愛知設計のところシステム設計は必要ありますか、ありませんか配管ありますよねってあったんですけど、

1:10:45	今回は、第1回の冷却塔の時は、冷却塔、
1:10:50	2、配管のここまでっていう切り分けをして、
1:10:55	第1回申請対象になったんですけど、
1:10:58	今回は配管は、
1:11:01	どういう扱いになってますか、屋外機器配管入ってますよ。
1:11:07	弓削イシダでございますが
1:11:09	これはさっきお話ししました利益よ。
1:11:12	本当の配管って結構いろんなパタテを回ってまして、建屋の中に入っているものあればあれば、屋外にイデてるものもありますんで、
1:11:21	屋外オギ
1:11:23	ん様は、何ももらえてるのは今岡奥が言ってるものはオクミキ相神の中で取り扱わないと駄目かなと思ってました。
1:11:31	はい、規制庁カセどうぞ。私もその認識だったんで、そうだと思ってました。はい、わかりました。あとさっきもちよっと議論あったんですが、
1:11:40	結局、今、このDB関係で整理しているところって、す、それぞれの設計項目をまずはちゃんと抽出しましょうで、
1:11:51	そこに書いてあることを、
1:11:54	踏まえて資料ニワ資料3に展開していくっていう。
1:11:58	認識で、それは先ほどからおっしゃっているんですがメッシュ感としては、どの程度をねらって、
1:12:05	整理していつていますか。
1:12:08	はい。峰瀬谷でございます。何て言えばいいんでしょう。
1:12:14	それは
1:12:17	正直申し上げると作成者のレベルによると思ってしまして、
1:12:22	このサカイド、
1:12:24	東レで類イメージがわかる言葉だけ書いておけば、
1:12:31	信憑1度、
1:12:34	いっちゃって、
1:12:36	引き続き、公募を変えてかけるのであれば、
1:12:41	今ぐらいの記載で、
1:12:45	ちょっとその辺りは駄目ですけども、竜巻みたいな記載をしておけば、必然的に資料23は理解した上で展開できるということだと思います。
1:12:55	ただそのレベルにイマダしてるかという問いをした時にはおそらくノーじゃないかなと思っていて、この段階である程度、その資料3とかで書くべきことが何なのかが認識できるような、

1:13:10	レベルを整理しておかないと、資料 3 をつくれといきなり言っても、資料 3 に行けないと、いうことかなと思ってます。そこは作成する人間のレベルに応じてステップアップしながら最後の方にまとめて、
1:13:26	迷ってますっていうのが正直です。はい。はい、規制庁からわかりました。先ほどその他の方も言っていて結局資料 3 でどういうことを書くかっていうイメージをつけながらこちらの確認してますので、
1:13:40	聞いていくところもそういうポイントになりますので、そういうワードが入ってるとかですね、資料 3 でこういうことを展開していくからこの設計項目なんですけど、
1:13:51	ちゃんとわかるようになってればそれでいい話だと思いますのでその辺をちょっと考慮しながら、作業も、作業していただきたいなと思います。いかがですか。
1:14:01	はい。弓削ニシダでございますはい。やってる行為自体はおっしゃる通り、鷲尾さんに向けて、例にある程度整理をしておかないといきなりつれないので、
1:14:11	その事前としてやっている行為ということであれば、おっしゃっていただいと、だと思ふので、そういう見方というかそういうチェックの仕方なり差、作成者に対する説明の仕方がいい。
1:14:25	というのに展開していければと思います。はい。
1:14:28	はい、規制庁カセよろしくお願ひします。あと真木関連私から以上です。
1:14:33	はい。
1:14:34	来ていたらいいです。
1:14:37	今話した内容。
1:14:42	レベル的に言うと今の段階で、例えば共通 12 の資料 3 の詳細設計展開表。
1:14:49	各レベルぐらい。
1:14:51	を想定すればいいのかどうかっていうところなのかなと思ってのんすけど。
1:14:58	何か午前中だと資料 2 に展開するっていうところも、何か重きを置いたようにも聞こえたんですけども、やっぱりねらいとしては資料 3 の、
1:15:08	詳細設計展開表みたいなところぐらいまで、今のうちから球込めしておくってイメージなんですかね。
1:15:21	はい。における 1 社でございます。正直それは無理じゃないかなと思っていて、
1:15:27	資料、資料 2 をご覧、午前中出した後の資料 3 から結局フィードバックかけた答えは資料にも当然入るわけで、

1:15:35	資料 2 の段階でどんなことを構造設計で語ってくれるか、システム設計で語ってくれるのか、評価で何をやるのかっていうのも当然イメージが掴めないといけないというところで、ある程度、ここで書いたことが資料 2 に反映されるのかなということでは思ってます。
1:15:52	ただ、この資料 2 で書くことを書くためには、資料 3 で、どういうことを書くかがわかってないと、当然ドバックかける時できないわけで、そういう意味では資料 3 で何を書かかっていうことをちゃんと考えて、この話を展開して欲しいというのが思いではあります。
1:16:09	資料 3 で書くこと全部ご理解出てくれっていうレベルだと、問題は求めているのが私の今のステータスでございます。はい。はい、わかりました。
1:16:18	資料 3 でフィードバックがあることを前提にして、そこまで視点としてまとめられていけばいいんじゃないかっていうところが、
1:16:27	ある程度のレベル感に達してるっていうことなのかなと。
1:16:30	求めているレベル感に達しているということなのかなと思ってます。
1:16:35	藤。
1:16:41	竜巻は他よろしければ、続いて
1:16:45	規制庁浜崎ですちょっと竜巻抜けて、
1:16:49	等を確認したいことがあるんですけども、35 番、11 ページのところですね。
1:16:57	ロームネットについての基本設計方針のところの、
1:17:01	Fのところ、支持架構の、
1:17:04	設計方針ということで支持できる強度を有する設計するそとするという記載があって、それに対する共通設計というか、
1:17:15	一番右の列のところには、特に成果コウについての説明がないんですけども、これは、
1:17:24	34 番の音を兼ねるといことなんですか、あと必要ないんでしょうか。
1:17:32	いうことで、
1:17:34	日本原燃の石黒でございます。あと、
1:17:37	今まさにおっしゃっていただいている通りで、
1:17:40	34 と 35 で共通のものは、
1:17:45	35 のところでは、
1:17:48	基本設計方針ナンバー 34 と同じっていうのが、上の方に、
1:17:53	書かれてると思うんですけど構造設計のところ、
1:17:56	共通設計について、同じものは記載をちょっと省略しておりまして、これについては 34 の、
1:18:03	ちょっとこれ見ていただいて、この構造設計のところ、

1:18:10	真ん中の真ん中にちょっと上ぐらいのところに、主事学校は、設計荷重竜巻に対して防護云々かんぬん、構造確保する設計というふうに書かせていただいてまして、ここで江藤 33 条をともに受けてるという、そういう記載の仕方をしております。以上です。
1:18:26	はい。規制庁の土岐です。位置付けは理解しましたそしたらですね、34 番の方でお聞きしますけれども、
1:18:33	同じ指示確保については、強度を有する設計をすると。
1:18:38	要は強度に対して強度をクライテリアにする設計をするというふうに掲げてるんですけども、
1:18:45	実際、一番右側のですね、列のところに限っては、
1:18:50	例えば、構造設計のところの四角のところにありますけれども、
1:18:57	例えばロームさんの方を、
1:18:59	指示できるよう、構成部材の転倒過大な変形に生じない構造を確保する設計って書いてありますね。
1:19:07	これ、ある意味、クライテリアの変形のクライテリアになってるんで、基本方針にある強度の縛りとあ、これ。
1:19:17	同じものを言ってるとは思えないんですけども、そこら辺のその関連性っていうのについて説明してもらいたいんですけども。
1:19:44	日本原燃石黒です。ちょっとだけお待ちくださいすいません。
1:19:48	入社でございますこれ第 1 回の時の確か竜巻の、
1:19:55	添付書類が設計方針、
1:19:59	共同評価の評価方針だったかな、評価結果っていう添付構成になっていて、その中の設計方針とか評価方針で、許容限界をどうするかっていうところで、
1:20:14	いわゆる強度を確保するということに対して、何を性能目標にしますかというところで、
1:20:23	この設計数竜巻に対して、過大な変形とかが起きなければ、また以来ずっと防護盤とかを支えてきてることになるのではないかといって展開をして書いたものをそのまま、
1:20:36	書いてもらってると思うんですけど、多分いや、わかりづらいのがこの地磁気によってルート構想部会が転倒過大な変形が生じないっていうの、
1:20:47	間に何を考えてこういう仮的にしたのかっていうところの考えが書いてないので、ここは繋がらないんじゃないかなと思ってました。
1:20:56	はい。ちゃうわけです。
1:20:59	今サトウ行っていた、いただいたような多分趣旨だと私自身も思ってるんですが、例えば今回のですねABC間を跨るようなことの規模説、

1:21:10	施設だとかあと四半期遠回りの紙、時本当にしてもですね、
1:21:17	ご意見をしていることで、分けけていいですかね、何、いくつかのブロック呉わけて、構成している部分があるわけで、そんな時に、
1:21:28	例えばそのブロック化の総合。
1:21:31	の関係ってというのは、整形でクライテリアを設けているものなのかどうかとかですね、或いは、
1:21:39	今ここで書いてあるのは、支持架構についてなんで、例えば、以前も説明ありましたけども、支持架構の衝突、支持架構感と衝突は確か考えてないと思うんですけども、
1:21:52	文字盤自体の衝突ってというのは感あり得るわけですよ。
1:21:56	で、
1:21:57	それ、
1:21:59	今どちらかというとクライテリアに繋がるものかなと、いうふうに思っていて先ほど芦田さん言っていただいたように、強度を、基本方針としては共同設計のクライテリアとしているのに対して実際、
1:22:12	多分県警の方が、
1:22:14	かなり重要な評価要因になると思いますんで、その関連性が、今のこの
1:22:22	説明の文章ではわからないんでその海田を埋めていただくようにですね、何か説明が必要だというふうに思います。
1:22:29	趣旨は繋がりましたでしょうか。
1:22:33	日本原燃の石黒です。中尾。
1:22:36	ちょっと反芻する形になっちゃうんですけども、岩崎さんおっしゃっていただいているのは例えばで言うと、園舎いとこ周りの5番なんかは、いくつかのブロックに分かれているので、
1:22:50	それぞれの衝突、ブロック間での
1:22:56	5番の衝突といったところを、
1:23:00	大きなことも含めて、強毒有するっていうような設計という説明、その繋がりが記載し、記載が要るんじゃないかっていう、
1:23:11	越智さんをいただいたという、そういう理解でよろしいですか。はい。他は田崎ですおっしゃる通りです。県ちい。
1:23:18	そんな時ですね確認させていただきましたけれども、アノ谷た、かなりクリア乱数が小さいところがありましたしですね、そういったところのショート数は、
1:23:29	考えても問題ないのか、或いはそれはまず、実際起きないのだからかですね、そういう評価をしているのかしてないのかということも含めてですね。

1:23:38	設計者といいますか事業者としてはどう考えているんだという説明をしてもらいたいというのが趣旨です。
1:23:45	日本原燃新保です。はいご質問の趣旨は理解しました。ちょっと、
1:23:52	支持できる強度を有するっていうところ、まさにおっしゃっていただいたみたいに、途中でおっしゃっていただいたみたいにしぶつかるということが前提なんだな。であれば、
1:24:02	ぶつかったとしても強度を有するっていう説明でこの枠に入るのかもしれないし、ぶつからないっていうような説明をしようとしている場合、ちょっとここ以外のところでの記載の
1:24:13	適切な箇所があるかもしれないので、そこを含めてちょっと検討させていただきます。以上です。
1:24:19	はい、規制庁浜崎ですお願いします。やっぱり不アノ強度をそのくらいTにするんでしたら、短期許容力度におさめるだとか終局強度に収めるっていうのが強度の
1:24:29	受けたと思いますんで、それに対応する今モンマになってないかなと思いますんで
1:24:36	その考え方について説明の方、後程記載してもらえばと思います。よろしくお願いします。以上です。
1:24:46	4月頃でしょうか。また、
1:24:56	確認ありますでしょうか。
1:24:59	よろしければ、続いて、
1:25:05	原燃側から追加で何か説明ありますでしょうか。
1:25:10	農業でございます。
1:25:16	千田ヤマグチです。それでは規制庁側から確認をお願いします。
1:25:22	規制庁オカです。ちょっと午前中にいろいろ本部の方はお伝えして他、本
1:25:29	規制庁側から本文で何か追加等ありましたでしょうか。
1:25:33	含む内容でしたら後各各事象で、それぞれ、
1:25:37	確認、区切って確認させていただきますので、3ページ目の外部所外部火災から、
1:25:44	お願いします。
1:25:46	外部火災がですね、
1:25:49	午前中も言ったんですが主語が明確じゃないものっていうのが結構多くてその他全般そうなんですけど、外部火災は特にそうだったんですが、竜巻の方は結構主語の明確化っていうのが今回、
1:26:03	しっかりサトウかなっていう印象だったんですが、その辺って、何か作業者の、

1:26:09	確認の、この地点みたいなのって入ってないんですか。
1:26:22	はい。4 ニシウラでございます。はい。どうぞ。
1:26:29	当部についてはCが素行、
1:26:35	展開しないといけなかったんですよ。
1:26:38	はい。
1:26:43	正直、いろんな
1:26:48	基本設計方針の顔を展開して本数、
1:26:54	体を返ってこなかった、あまりいい。
1:26:58	業績教授切って帰って、
1:27:02	店舗を
1:27:04	何回も書く必要はない分で1日でいっぱい分けたものという意味で、
1:27:10	大丈夫となってしまったのかもしれませんが。
1:27:16	そういう意味では、その欄で何を言っていてどういう設計、
1:27:26	ウノがわかるそれと、
1:27:30	いう空港を持ち、
1:27:40	はい、規制庁かです結構不明瞭だと、そこは、例えば基本設計を人に支障がない、それを展開した時に支障がないとは何のことを言ってるのかっていうところになります。
1:27:54	いえ、幾つか
1:27:57	あるんですが、先ほどの通りじゃあれをして、聞こえてますでしょうか、
1:28:04	入れたもん。
1:28:05	こちらの音声聞こえてますか。
1:28:12	沖長課長こちらの佐伯くれますか。はい。本町は聞こえてます。
1:28:18	6月も聞こえております。
1:28:22	Cじゃない。
1:28:26	やっぱりスペアへ。
1:28:36	うん。
1:28:41	A1、
1:28:43	ウダアノ。
1:28:46	おい。
1:28:48	結局、聞こえてるんですね。
1:28:55	はい。
1:28:57	江田でございます。
1:28:59	おりてくるか。
1:29:02	政調会ちょっと東京から、

1:29:08	ヤマグチですナカノ、
1:29:11	今、両方なんかの時に大井になってたのでちょっと聞き取りづらかったんですけど、杉浦堀田。
1:29:18	て発言をいただいて、上西でございます聞こえますかね。
1:29:24	聞こえますけど、すみません。はい。
1:29:39	山口です。それでちょっと続きからってところで、どこ。
1:29:44	ツイッターとかでよろしいですか。
1:29:46	手話の件はそれとしてだと外部火災全般に関わるところでいうと、
1:29:55	前回、
1:29:59	説明の方からも、ちょっと今、配慮が足りてませんってところで、離隔距離をとるところは配置設計に全部、
1:30:08	していて、D評価のところ、外壁表面温度とかそういうものをコウウタしている、そういうところはちゃんと、評価の内容を踏まえて構造設計等で見ていかなきゃいけないですねっていうような、
1:30:21	説明もあつたんじゃないかと思ってたんですが今回そういう展開が、
1:30:25	なされなくて、基本的にその評価で、その施設の温度を確認するようなところも全部配置設計だけで、
1:30:32	整理されてきた、前回と同じ整理だったところなんです、その辺でちょっと考えをうかがわせていただけますか。
1:30:43	はい。与儀ニシダでございます。これがおっしゃっていただいている通りで、足りてないとも認識をします。
1:30:53	どこがいいのかな。
1:30:56	例えば5ページの外貨16番、ここで建物が建物の構造設計を説明するってそれは既認可で示してる構造。
1:31:06	示すので、設計情報として出した上で、それをと配置設計の組み合わせで、
1:31:13	評価をすると、ということなので、そういう部分の配慮をしないといけないところはまだ抜けてるのは認識をしますので追加なりをしていきたいと思います。はい。
1:31:24	はいどうぞ。
1:31:25	はい、その下の18番までですね。はい。
1:31:29	規制庁甲斐ですその認識を前回も持っていらつしゃつたと認識したので、あまり、
1:31:35	一つ一つ考えを聞くことはなかったんですが完全にそこを全部、全体的に不足している点だと思いますので、そういうところはしっかり確認お願いします。
1:31:46	その上でなんです、第1回で、結構いろいろな設備の評価なんか、

1:31:53	やっていただいて、どういうふうに添付書類で展開するかっていうのも類型を踏まえながら外部火災が展開してきたところがあるんですが、
1:32:03	共通順位の体系ではどういうふうに、
1:32:06	説明シナリオを考えてますかそういうところ。
1:32:18	はい。日本原燃石原でございます。そうですね。Web火災が一番、
1:32:26	難しいですね。
1:32:31	周りの設備とかここで言ってる対象設備以外のやつの配置とかも含めていろいろ説明しているところがあるのでそこをどう説明していくかはちょっと考えないといけないんですね。
1:32:43	はい。
1:32:47	はい。
1:32:52	規制庁金戸 9 からおそらく、
1:32:56	覚えますかね。はい。すいませんそういうことを考えないといけないというところでまだちょっと十分。
1:33:03	検討ができてない配慮ができてないと思ってますんで、ちょっと引き続き頭を整理したいと思います。はい。
1:33:10	はい。規制庁鍛冶です。こちらもその辺を確認したくてですね、まずはそのそれぞれの設計項目でどんなことを説明するのか、の後にそういう
1:33:21	代表を使って、
1:33:23	いろいろ展開していくっていうことを 1 回まで結構やってきたところではあるので、
1:33:28	その辺を少しかがわさせていただきたいなと思います。はい、新井田でございます承知いたしました。確かに
1:33:37	離隔距離の話も結局は、一番近いやつであったりというのを出した上で、どちらかという、代表選手みたいなので、説明するやり方を先行して、
1:33:49	外貨をやった感じもするので、そういうところの、見える化資料 23 でどう展開するかということも、整理をしてこの中で見える化できればと思いますので検討を進めます。はい。
1:34:01	はい。規制庁岡ですよろしくお願いします。あとちょっと具体的ところで、1 ページ目の売価 13、
1:34:09	予防型の
1:34:12	一つの設計、配置をしないという設計とか、
1:34:20	延焼防止機能を損なわないように、いろいろな
1:34:25	場合も、防火シートは不燃材シートで覆うところから、
1:34:29	そういうその設計配慮をここで書いていたつもりだったんですが、運用の方に回ってしまっていて、運用は運用でちゃんと

1:34:40	付加体の扱いというのがちゃんと
1:34:43	記載はしているんですが、ここが運用になったっていう、どういう理由ですか。
1:34:53	はい、日本イシダでございます。これは完全にポカミスですね。はい。おっしゃっていただいたように個別補足まで作って防火体の設計の配慮の話を、
1:35:04	第1回で話をしていたのはまさしく外貨13番で受けたはずなので、そこも含めて、今から思うと、冒頭制限の何でここでできたのかっていうところはちょっと若干ますけど、はい。ちょっと整理をします。はい。
1:35:19	はい。規制庁甲斐です。おっしゃる通りガイカイか13で確認済みですので、結構外部火災がそうやって設定配慮なんかは第1回でしっかり見てきたところもあるので、
1:35:31	そういうその経験を踏まえながら
1:35:33	展開していただくのが比較的楽なんじゃないかなと思いますんで、
1:35:38	他の
1:35:40	補足説明資料なんかで説明した内容も踏まえながら、
1:35:43	整理のほどよろしく願います。
1:35:49	はい。日本原燃石田でございます承知いたしましたはい。はい。規制庁岡です。あと5ページ目。
1:35:56	10ロックは先ほど、
1:36:00	同じか。
1:36:02	なんか15、
1:36:05	の、
1:36:06	とですね西副社長の、
1:36:10	影響を受けない位置っていう、二次輻射の熱液を受けない位置っていう配置設計があって、これを具体的にどういうふうに、
1:36:19	表現するのかっていうところ少し教えてください。
1:36:33	はい。乳井の伊勢でございます。これは建屋の中のちょっとどう配置を示すかですけど、
1:36:42	壁だったら壁の厚さ0度を遮られて、屋内ない違う多分温度は下がってるんで大丈夫ですなんですけど、扉とか他のいろんな構成部材になったときに、壁と同じような議論ができないのであれば、
1:36:56	それとの位置関係も含めて、熱影響が受けられない、受けられないような位置に設置をするということを、説明しないといかんかなと思って、この文章を言葉を変えています。
1:37:09	はい。

1:37:09	はい。衛藤花月そこって設計担保するには評価みたいなのが必要なんかなと思ったんですが、そこまでは、
1:37:18	いかないぐらいのレベル感でちゃんと整理できる感じですか。
1:37:23	はい、日本イシダでございます。ちょっと事実関係を確認して、そんな際どいところをねらいたいわけではないので、とは思ってるんですけど、それも含めて確認をします。はい。
1:37:34	はい。規制庁岡ですよろしくお願ひします。
1:37:37	あとは離隔関係の話が続いていって9ページ目の、
1:37:42	3、ナンバー35までちょっと飛ぶんですが、
1:37:47	No.35 麦芽Ⅱ。
1:37:50	No配慮になっていて、
1:37:53	これこの構造設計のウツミ野瀬説明が爆発を防止するため建屋内にやはり収納されて、
1:38:02	爆発を防止するために朱タテナカニシウノってところがちょっとよく、
1:38:08	意図がわからんわからない。すいません。駄目ですね。若干減を排除するっていうのが多分爆発の防止で、建屋外の収納ってのは爆発の影響を拡大しないための措置なので、
1:38:23	Aと書いた人間が頭が回ってなかっただけで希望しますはいちゃんとチェックします。はい。はい。はい。よろしくお願ひします。
1:38:33	あと39番、次のページ10ページ目の39番で、航空機墜落火災の話になってくるんですが、
1:38:43	ここは、
1:38:46	この後もなんですが、航空機墜落火災は効果再現の設定の考え方っていうのは、
1:38:52	結構重要になって第1回でもどこに落とすかとか、
1:38:56	結構議論したんですが、構造設計だけで整理しているんですが、
1:39:03	どういうふうにかう表現して食う説明オク
1:39:08	となってますでしょうか。はい、与儀西原でございます。そうですねちゃんと分けて書いた方がいいんでしょうね。
1:39:17	今、確かに悩んだのは、特に再開いう区の話になると、
1:39:23	どこにリスクを残すかが、航空機が通訳する箇所との関係が大分強くなるんで、
1:39:31	分けて説明するのも辛いなってところがあったので、構造設計とセットでということ考えたのが今の形です。とはいえそのキーワード入ってないんで、これが何も説明してない方必要じゃないかって感じもあるんで、
1:39:44	それをセットで説明する方が合理的な場合は、被覆なんかを講じる場所とせ

1:39:54	設計等、航空機以外の火災が発生する場所との関係も含めて、ここで説明しますということがわかるようにさせていただければと思います。
1:40:05	はい。江藤オカですおっしゃる通りで説明しやすさだとは思いますが、だから、例えば配置設計しなきゃいけないとかそういうわけでもなくて
1:40:15	もう少し資料3をイメージして、こういうものがこういうふうの説明していきますっていう特に外部火災は火災元との位置関係というのが非常に重要なコウインダ疇津ホデ。
1:40:28	そういうところを配慮した上で、どう表現していくかというところ、記載していただけると。
1:40:35	こちらは確認しやすいかなと思いますのでよろしくお願いします。
1:40:41	はい、宮城磯田でございます。はい。そういう整理をしていきたいと思えます
1:40:46	ちょっと外貨が44番はかけるからいっぱい書いてあって他の前世ゴトウタナカってところあるんで整理を進めたいと思います。はい。
1:40:55	はい。そうですね44番が全部詰め込んだという感じで全部構造設計というふうにご書いてき基本設計方針の裏返しをコウ、
1:41:05	それをずらっと書いて最後の評価で、評価温度以下になる開き温度以下になることを評価するっていうふうになってもうちょっとこうイメージ資料3で何を更新していくのかっていうイメージを持ちながら、
1:41:19	文章化するっていう、うん。
1:41:22	国ババonですがその一つ一つが、どういう設計担当をして、
1:41:27	何を評価するのか劇、
1:41:30	いうところを、
1:41:31	もし明確にしていった方がいいかなと思いますんで、よろしくお願いします。
1:41:37	はい。宮城ニシダでございます。承知いたしました。
1:41:40	超過です。あと14ページ、48番。
1:41:48	ここが危険物施設等の火災及び爆発の本対策を、配置設計で書いていてで、ここは、
1:41:59	どうやって担保していくんですかね費、例えば評価をするのであれば評価ですし、間何でタップするかを、
1:42:08	教えてください。
1:42:20	はい、与儀西尾でございます。これわーわー、そうですねこれも結局は、
1:42:29	1レーダー、前の方にあるやつと同じ配置と評価がセットでないといけないと思いますんで、そこも含めて整理をさせていただきます。あとあれですかね。

1:42:44	ちょっと待ってください。これってあれだよ。危険物貯蔵施設の設計なんか担保しようと思ったわけじゃないんだよ。
1:42:50	梶浦委員。
1:42:53	加害者にならないっていうことを日距離で確保しよう。
1:42:57	だから、前と一緒に、
1:42:59	前は離隔距離改定強化だと言って、何評価してるかよくわかんないけど、解体でしょ一緒やね。
1:43:09	これも許容限界4ドイかっていうと、
1:43:13	わくわく爆風圧か。
1:43:15	0.01MPa以下っていう話なんじゃない。
1:43:21	はい、日本イシダでございますはいちょっと同じように展開できるように整理します。はい。はい。室長と思います。お願いします。56。
1:43:33	あとは、15 ページ目、56 番。
1:43:37	ディーゼル発電機の通り
1:43:40	等を、
1:43:42	例えばシステム設計で行為、ここまでの
1:43:47	いろんな系統にコウ、フィルタとかワイヤーネットとかつけるときのシステム設計で展開してきてるんですけど、非常用ディーゼル発電機の吸気系、
1:43:57	もうこれシステム設計になるんですか。
1:44:04	はい、日本イシダでございますはい。そこはちょっとこちらで私の方で整理をします。おっしゃっていただいたように、非常用ディーゼル発電機って言ったら、吸気系とDでの今回と、背景も含めて、
1:44:18	一つで、設備だと言うのであれば、構造設計で説明すればいいんだろうなという気もしてます。
1:44:26	換気系統みたいに系統としての名称があった上で中にさらにフィルターだ排風機だ、ダンパーだっついていければ、システム設計で、
1:44:35	説明する範囲と構造設計で説明する範囲というのは当然、明確に仕分けをしないとイケないですけど、ここは行動設計で全体説明しても、説明通じて気もするので、
1:44:45	そういう線引きの仕方をちょっと整理をしないと、同じようにできないかもしれませんので、こちら私の方で考えます。はい。はい。同じ認識で、結局作業者のばらつきが出るようなところかもしれませんが、だからと言ったところ、
1:45:00	無理やりにシステム設計でやらなきゃいけないっていうようなものではないものまで全厚ルールに沿ってシステム設計みたいにやっていると説

	明しくなくなってしまいますので、そういう線引きをしっかりとお願いします。
1:45:16	外部火災関係は私からは以上ですが大きいところでは再整理が結構必要だと思いますので、
1:45:25	引き続きよろしく申し上げます。
1:45:28	菅規制庁側から外部火災関係で何かありましたらお願いします。
1:45:39	特にないようでしたら、
1:45:41	宇津木火山の方、
1:45:44	お願いします。
1:45:45	特に説明ないと思いますんで規制庁から確認お願いします。
1:45:49	はい。規制庁の新居です。19 ページ目をお願いします。19 ページ目の火山の 10 番で午前中も議論した通り、
1:46:00	うん。
1:46:03	結局、
1:46:04	評価をするのが静的負荷と粒子の衝突で、
1:46:08	その他のやつっていうのは、
1:46:11	影響評価して書いてあるんですけども、そこはどういう整理になったのかっていうのをまず教えていただきたいなと思っておりますが、
1:46:28	はい、姫野伊勢でございます。はい。まず、
1:46:34	荷重の話はもともと基本設計方針もある通り、構造強度を評価を実施してある通り、共同に対して健全性を維持できるかっていう、
1:46:47	判断基準の中で評価を実施していると、いうこと。
1:46:52	流通の時は結局は瀧川に振っているんで、その中で必要な展開がされると。
1:47:00	それ以降なんですけど、22 番以降ですかね。
1:47:06	タダンの話ですけど、
1:47:09	侵入しがたい設計とかですもんねかつ安全機能を損なわない設計とすりゃ、いわゆる何らかの構造設計上、システム設計上の配慮によって、
1:47:22	なるべく入ってこないようにNしますということを、設計としてうたってるものに対して、
1:47:31	何か評価ができるかという、まだ 1 回でも結局、何か評価するってよりも、こういう構造にすることで表、侵入しがたい構造ですよんということの確認をして終わってる部分なので、
1:47:42	第 2 回でも同じようなことで展開をしたのが現状でございます。はい。はい。通常のそういう意味だと、10 番では結構広いので評価をしていくってところにあるんですけども、
1:47:56	細かくナカタカハタクボ両括弧の、とか、

1:48:01	いいとかっていうところにはちゃんと橋渡しとなる構造と、評価をしようというのが、合わせて書いてあるので、そういう部分については評価も、パッケージで合わせて、
1:48:13	設計項目として起こして、何らかに対応していると。
1:48:19	はい、宮城石田でございます。おっしゃっていただいと確か 20 番で、全部くった上で影響評価しと書いてあるところを、個別で拾っているところで、
1:48:29	実際具体の設計をうたったときに、評価をするということは、何らかの評価によって確率と書いてるものは、実際構造設計と評価を組み合わせると。
1:48:39	そうでなくて安全機能を損なわない設計とするというくりだけになっているところは、設計を説明してそれによって何らかの配慮をされていることを説明するという整理になってます。はい。
1:48:54	評価するにしてもあんまり、
1:48:57	こういう構造なんだってところでクローズしてしまうというのが多分現状なのかなあとは、
1:49:03	思うんですが。
1:49:11	それはそれで、はい。
1:49:13	整理はもう第 1 回の中からしてらるってところで、はい、理解はしました。
1:49:18	それで
1:49:20	細かい点を言うんですけどね。
1:49:28	22 ページ目ですかね。
1:49:31	22 ページ目の火山の 23 から 25 とかの中で、
1:49:39	23 の、
1:49:42	一番右側の竜巻防対策設備って欄に、
1:49:52	この建物と同じ記載があるってのは何か理由があるんですけど。
1:50:10	JAん。わかりましたはい、日本イシダでございます。ちょっと事実確認をした上で整理をしますが、非常用発電建屋、
1:50:23	非常にね建屋のミツイって対策設備の一部が、フードを兼ねている。
1:50:32	何で対策セキネ会館であろうと、ようでここに書いてるようですが、とは言えそうだとすると、
1:50:41	防雪フードを設ける設計とは書かないので、
1:50:47	だから、
1:50:51	ちょっとやり方を考えます。はい。すいません。はい。

1:50:54	竜巻の議論と一緒に、防雪フードって、何らか機械的強度を有することを示す必要するのかなあとかって思ってたんですけど。
1:51:06	具体的なものがわからないので、ちょっと事実関係を後で教えていただければと思います。はい。だから今ここでやりたいのはあくまで建屋の中に入ってこないように頑張りますと言ってるだけなので、
1:51:18	強度云々の話ではないかなと思いますがちょっと事実確認をした上でどこにどう書くのがいいのかは整理します。はい。
1:51:26	あとは 24 番なんかでは、
1:51:29	システム設計っていうところで、フィルターを設置しますっていう話なんですけど。
1:51:38	フィルターをどこに設置するのかっていう観点だと、配置っていうところもあるのかなと思ったんですが、
1:51:46	ここはどういう考え方でシステム設計のみにしたのかっていうのを教えてください。
1:51:53	はい。日本原燃正田でございます。吸気系はと言ってる時点でアドレスは指定されてるということを前提に、吸気系の範囲であれば、
1:52:05	逆にどっかについていればいいということでアドレスをあまり指定する必要がないかなということで書いてはいるんですが、
1:52:14	元が頭なので、
1:52:17	それも含めて、例えば換気設備のび等だから、オカカミヤ縮系とかディーゼル発電機とか全部含めた、全部が吸気系、一般じゃ
1:52:29	ということですね、休憩という時点でアドレスがある程度指定できるという前提で、システム設計側に書いているということです。はい。はい。
1:52:38	そういう意味で、建屋内部に書いてあったら、
1:52:42	部分もあったので、吸気系というところであればある程度、建屋の
1:52:48	はい。すぐ前室の辺りについてるっていうのは自明だと思うので、それ、そういう休憩以外っていうところであれば、もう少し入り組んだところでフィルターを設置するのであれば配置設計とかもあるのかなと思ったってだけで説明し切れるだけ、いいと思います。
1:53:07	はい。
1:53:11	あとは、
1:53:13	同じようなことで、
1:53:20	2、26 番から 29 番の辺りで、
1:53:25	26 番 27 番というのは屋内機器配管で清掃が可能な性構造とするっていうのと、除灰が可能な構造とするっていうところで、資料 3 とか 2 展開するとき、

1:53:37	成層なカノウな構造って何っていうのって、除灰カノウナカ構造って何っていうのを、
1:53:43	説明できるようにしていただきたいと思ってるんですけど。
1:53:46	何か今の時点で、こういうものだっていう説明できますか。
1:53:56	はい、小木曾でございます。ここはちょっと私もこれを作ってもらいながら、まだ悩んでいるところで、除灰カノウな。
1:54:09	構造上から今、
1:54:15	どこだっけ。
1:54:19	じゃない、清掃可能な構造だっけ、入れたどうか、フィルターの方あれです。ね交換清掃が可能なんてのは
1:54:27	交換するために必要な構造になってるとかでフィルターのは普通、家関係等についてフィルターであれば
1:54:39	フィルターの交換をする。
1:54:41	観覧基準になるような特定形がついてるかとかも含めて、欠席設計で説明しないと駄目なんですね。これ目途取り上げたの整合がとれてないところかなと思ってます
1:54:55	そういうところも含めてケアをして必要な設計を語ると、ということかと思えますはい。
1:55:01	はい。はい。
1:55:02	具体を説明し切れる。
1:55:05	ような、橋渡的なことはこの場で書かれてればいいのかかなと思うんですけど。
1:55:11	そういった観点が、作業員として展開されるように、ちょっとお願いしたいと思います。
1:55:20	あとは 29 番とかだと、
1:55:23	主排気塔は基本的に吹き上げしてるので、進入しがたい構造というところで、
1:55:32	降下火砕物を、
1:55:34	が侵入することを防止するための吹き上げに必要な風量の観点とかで、システム設計とかっていうところで展開するっていうのもあり得るのかなと思ったんですけども。
1:55:46	ここってそういうところも構造設計で示せる。
1:55:51	示す予定なんだよみたいな感じ。
1:55:54	はい、日本インダでございましてこれーが正しく作ってもらっても第
1:56:00	説明グループ 1 の資料 3 なんかを作ってもらっていてここがみんな書きづらそうだなと思ったのが、正しく設計として、
1:56:10	支配と主排気塔の構造っていうのとか主排気とかの風量を、

1:56:20	150万立米ですかねとか、稼働許可に書いてある通りの風量を確認してるところで金委員からもすでに説明してる内容が前提にあった上で、じゃあ、この新しい要求に対してどういう設計をしますかというところなんですけど、
1:56:35	ここで言ってる29番の一つ目のポツが、何か設計上の考慮かと言われると、自明な話を書いているところなのでここにあまり設計を語る。
1:56:46	ていうのが難しいな、意味があるのかなという気がしていて、どちらかというと、今回の要求事項の追加分のやるべきことが二つ目のポツなんだろうなと。
1:56:56	なので、本来ここで説明すべきが一つ目のポツではなくて二つ目のポツを多分設計として考えなきゃいけない。ただし、異物の除去が可能な構造っていうのが一体何なのかっていうのと、
1:57:09	当然ながら主排気塔でかいので、当然
1:57:14	除去するための作業場所っていうのは人がアクセスできる場所じゃないといけない。そういったことを多分構造設計配置設計で説明していくのかなということであとは先ほどのヴィアの交換とかじゃないですけどそういうことが1Day作業でできるような構造につきますと、ということ。
1:57:31	かなとは思いますが。はい。
1:57:33	はい。
1:57:34	そうですねなんかし排気塔の排気量ってもう既認可でも決まってて、その排気量だったらこれぐらい
1:57:43	なんていうか、
1:57:46	入らないように、
1:57:49	はい、吹き上げることができますよねっていう、ちょっと合わせ技みたいな感じのところには何か、既存のあるものに乗っかってるっていうだけのイメージなので、
1:57:59	多分もう入ることを前提とした対策っていうのを、おそらくここでやりたいんだなという。はい。
1:58:07	はい。ちょっとまたお預かりをお願いしたいと思います。はい。
1:58:13	あとは、
1:58:17	そういう意味だと、いろいろ。
1:58:20	細かいことは、
1:58:24	有井35番とか36番ですね、次は、
1:58:29	うん。
1:58:33	35番については、
1:58:37	開口部に侵入しがたい構造というところで、
1:58:41	冷却ファンの改善軸部の子会合というところも、

1:58:46	あるんですが、
1:58:53	ここっていうのは、
1:58:59	何ていうか屋外機器配管と基本設計方針の内容というのは、
1:59:05	あんまり、
1:59:07	マッチしていないなと思ってんですけど。
1:59:10	基本設計方針の方には、冷却ファンの改善部っていうところが指定されてて、
1:59:16	ただ
1:59:18	構造設計として展開する際には、
1:59:21	開口部がないというふうにしてるんですけども、この事実関係をまず教えていただけますか。
1:59:28	はい。与儀瀬谷でございます。これも第1回で確か説明をした範囲と同じですがここで言ってる、
1:59:38	冷却不安の回転軸部はと言ってるのが防火火災物が侵入する可能性のある部位を特定していて、そのうちその部位に対して、
1:59:48	降下火砕物が侵入するケースを考えた上で、それを除外する、それを妨げるための、
1:59:56	方法論というかパターンとして、
2:00:00	空気がそもそも上、下から上に流れてるでしょうと。だからうち上から降ってきたものがあるところにどンドン散らばっていくことはないよねということに加えて、
2:00:09	そもそもその回転軸部自体に、カバーがついていたりして開口する部分がありませんと。だからその回転軸自体に、降下火砕物が侵入する可能性は、
2:00:23	概略低いですよみたいなことを説明してたのが第1回の説明です。
2:00:28	なのでその辺が、基本設計部署の関係がどうなのかをもうちょっとわかるように、屋外機器配管特に書くのかなと思います。はい。お願いします。
2:00:38	あと36番は、
2:00:47	屋内機器配管の方っていうのは具体的に何をイメージされてますか。
2:00:52	どの設備っていうのって、
2:00:55	やっぱり9期、
2:00:59	給排気システムみたいなものがあるっていうところ。
2:01:11	36番ですよ。はい。
2:01:14	はい。次。
2:01:20	36の屋内機器配管って、具体的に何があるのかな。はい。与儀ニシウラでございます。あるとすると、

2:01:28	DDアンドウアック。
2:01:32	呉の足首とかですね外から吸気してるところが流量があるので、そういったものが巻き自体は屋内にありますんで屋内機器配管を、の対象になるかなと思ってます。
2:01:46	それっていうのは、フィルターが前段にあるとしても、
2:01:50	それは、
2:01:52	ないものとして進入したとしてもっていうところを想定してってことなんですかね。
2:02:01	日本原燃板谷でございます。フィルターを抜けた後のそのフィルターのメッシュで取れなかったものが万が一入ってきても、摺動部で動いてる部分にかみ込むと。
2:02:14	いう事象があった時でも、もともと
2:02:18	こちらの方が、材料より弱いんで、
2:02:22	碎けて終わりますってというような説明がもともとしていた説明だと思ってますんでそういう展開になるかと思えますけど。
2:02:29	万が一
2:02:34	ちょっと記入かの範囲なんで。はい。
2:02:37	ぐらいにして、
2:02:43	あとは、
2:02:45	41 から 43 とか外壁塗装とか屋上防水を施工するっていうところで、
2:02:56	これを施工する範囲っていうのは、
2:03:00	どのよう、
2:03:02	どのよう、資料 3 に展開するとき市指定しようとしてますか。
2:03:12	はい。乳井技師長でございます建物であれば、外壁全部アノオノ外に繋がってるメッセージしてるメイン全部に、第 1 回で確かやね。
2:03:25	と、
2:03:26	屋外のタナベか、壁とか何とかって書き方をしましたけど、そういう形だと思います後は屋外会館も外気と製紙というところを対象にっていうようなことで展開していたという認識をします。はい。
2:03:41	うん。
2:03:43	そういう意味だと、
2:03:45	何か設備間施設間の、
2:03:48	隙間みたいなのところもしっかりとそうするっていうところは外気に触れてるっていう条件のもとでは、ちゃんと塗装しますとか、防水施工しますとかっていうのは、展開されるわけですね。
2:04:04	はい、梅田でございます。はいそれは、

2:04:08	そうですね第1回で擬木だけだったんであんまり僕は最初にもうアリコにどこまでやったっけ。
2:04:14	それでもやってるのか、いや、
2:04:17	結局は、
2:04:19	誰も
2:04:21	鬼頭相川の繋ぎも含めて、
2:04:24	でもあれか、耐火塗装があるから邪魔だから、ヤマダから言っただけじゃない。
2:04:29	そう。耐火塗装がついてないところは塗装しますってこと。はい。はい。その辺の線引きはしないといけませんね。はい。はい。
2:04:37	なので、
2:04:38	この前現地行ったら耐火塗装少し何か甘い部分とかはあったりとかしたのでちょっとそうっていうのは、どういうところをケアしてやってるのかっていうのは、社内でも統一した方がいいのかなと思って伺った次第です。
2:04:56	はい、米田でございますはい、ありがとうございますはい。
2:05:01	はい。
2:05:08	うん。
2:05:10	あとはさっきの
2:05:12	防食処理とかっていうのもあったり、
2:05:19	具体的にそういうのは何するんですかとかっていうのをちゃんと展開できるようにしてくださいねっていうコメントが、
2:05:25	多いので、
2:05:26	たまに何かある意味、アルミニウム溶射とか何かいろいろ少し具体的なところは書いてある部分もあったりするんですけども、
2:05:35	はい、乳井瀬谷でございます特に49番は以前、
2:05:41	ないですね。
2:05:44	何だっけあれ報告書出した。
2:05:47	返還廃棄物の施設で
2:05:51	ガスコガ会収納してる人の空間の世良が不足とか何とかしてたところあったんで、そういう意味でありヨシちゃってある意味、アルミニウム用さつていうのを、
2:06:02	具体的に展開したりしてたところは展開をしますけどそれ以外も、塗装とかをする場合はいろんな
2:06:10	塩害とかも含めて、外の空気探すときに考えなきゃいけない考慮事項を踏まえて、影響がないということを確認されたとそうしますとか、

2:06:21	いうことも含めて個別補足で確か展開を 1 回定義申し上げたと思うので、そういった考え方がわかるように、はい。記載をしたいと思います。
2:06:34	あとはもう、
2:06:34	最後、
2:06:36	伴で、多分これも似たような話で、
2:06:40	ダンパー
2:06:43	を設置する設計というところで、
2:06:47	配置設計には書いてあるんですがシステム設計の中では、
2:06:52	ダンパがあんまり出てこなくて、
2:06:56	フィルタユニットと送風機を設置するっていう計画になってるので、
2:07:01	頑張っここで出てこないんでしたっけっていうところは気になるなっていうだけです。
2:07:06	はい、萩谷でございます。まずはないといけませんね。はい。何%で切り替えるっていうのが前提なので、はい。それを、システム設計で行った上でじゃあどの、どのダンパーってどこについてるのが正しい姿なのか、
2:07:19	設計側で説明されるということで、もともとは考えてましたので、それがわかるようにしますはい。
2:07:25	あと関連で 55 番も。
2:07:27	外気の取り入れ必要に応じてしますっていう再循環運転の時の話だと思っんですが、
2:07:35	この頻度とか、多分 1 回閉じた場合に、そこにいる、
2:07:42	運転員がどれだけ耐えられるかっていう評価って、
2:07:46	ここではやってないんでしたっけ制御室側の条文でやるもんなんでしたっけ。
2:08:01	イトウくんやってたっけ、これ見たことがあるんだろう。
2:08:04	手にウツミ海田ってなかったっけ。やってない。
2:08:07	許可では、
2:08:10	オオキウエエダ。
2:08:15	ここ 9000 中で、うち、
2:08:21	でもこれどっかで 1 週間ぐらいしかもちませんとか何か説明した気がするんだけど、
2:08:26	再循環閉じたの。
2:08:28	普通に考えた人があんだけいて、
2:08:31	中央制御室の人が普通だよ。
2:08:33	見て作業とかで何だっけ。

2:08:37	どう、労働安全規制法とかいろんな規則で決まってる二酸化炭素排出できると、1週間か1週間弱でもって、
2:08:47	それ以内で耐循環運転に切り換えないといけませんみたいなことを説明した資料見たことがあるんだけど、それって、居住性か。うん。
2:08:57	なるほど。わかりましたはい、日本インダでございますちょっとそこもどこと紐づけをするかちょっと整理をして、はい。
2:09:04	ところなんか保安規定に定め、
2:09:07	ある。
2:09:08	ですが、運用要求
2:09:11	ではなくシステム設計運用とする部分と、
2:09:15	括弧書きの運用、括弧運用要求だけのやつは二つあると思いますはい。
2:09:22	はい。すいません。
2:09:24	火山は以上です。
2:09:27	長ヤマグチです。ちょっとこの資料スズキあるんですけど、一応、
2:09:32	県下しか2時間ちょっと結果してしまったんですけども、原燃休憩必要だったら入れようかなと思うんですけどいかがでしょうか。
2:09:47	私が言わないでも言わないのかな。まだ続きそうなんではい休憩挟みましょうか。はい。
2:09:56	それでは10分ほど休憩を挟んで、3時50分再開で内田します。
0:00:00	を開始しましたと。
0:00:03	はい。
0:00:05	ぜ。
0:00:08	航空機。
0:00:10	ですかね。特に件目側から説明ないと思いますので原燃規制庁側からお願いします。規制庁の荒井ですけど、1通だけあって、
0:00:21	29ページ目の6番ですね。
0:00:25	9番で、定期的に
0:00:29	防護措置の要否を判断するためっていうところで、
0:00:33	保安規定で、
0:00:37	航空炉の
0:00:40	そこを行き交う飛行機の頻度等も確認しますっていうのを、
0:00:44	約束するっていうところなんですけど、運用用要求として括弧書きで書いてあるのはいいんですけど、
0:00:51	下の個別補足説明資料っていうのは、どういう位置付けになるのかっていうのを確認したくてですね、運用への個別交通、補足説明資料の取り扱い。

0:01:05	のやり方、設工認側でしょうとは何か。
0:01:10	ていうものは、はい、新美家田でございます。これはすいません、超レアケースだと思っていただきたいと思います。
0:01:20	永戸さんの技術ノートが定期的に発行されているので、特に前回出たものが大分
0:01:27	航空機の落下自己評価の前提になる事故件数の数え方をいろいろと
0:01:34	変えられたりしてなのでそこも含めて今回確率評価のところの考え方を、個別補足で出さないといけないというのがまさしくこの航空機はそれだけが、
0:01:44	ターゲットになってますので、あえて書かさせていただきました。他でこんな書き方をするつもりは全くありません。
0:01:52	はい、わかりました。これって設工認側で出さないといけないって言うてあるんですか。
0:01:59	そういうお約束でとしか言いようがなくてですね。はい。
0:02:05	はい。ちょっと、
0:02:07	知らないところというのがあるっていうところではい。
0:02:09	ちょっと
0:02:11	確率の三つの字が間違っていたりするのかなと。
0:02:15	はっきりします。
0:02:20	以上です。
0:02:22	航空機は以上です。
0:02:26	これはうちの航空機の関係で規制庁がわからなければ、
0:02:32	続いて落雷についてですかね。
0:02:35	側からお願いします。
0:02:38	はい、規制庁課です。落雷は、33 ページ目、これは前回もコメントしたところだったんですが、
0:02:47	外来の 7 と 9 の関係ですね。
0:02:50	どっちの設計条件で想定する落雷の規模というふうになっていて、確かに 7 は、
0:02:55	落雷の規模を設定しているんですが、旧の方は、
0:02:59	これぐらいの規模だけというか、落雷の規模ではないと思ってるんですが、
0:03:04	ここはす据え置きだったのがどういう意図でしょうか。
0:03:20	第 2 本のインダでございます。はい。ちょっと番号の振り方が、私の今からしゃべる人と違うので整理をしますが、

0:03:31	おっしゃっていただいて7番目に170というのを振りに行ってると思ってます。ただしそれも踏まえた上で須貝鬼頭の方に入る入らないで150の話が出てくるので、
0:03:45	また銀行の話を条件として降りたいと。ただとはいえ10番で振られてもしょうがないところもあるので、おそらく、10、
0:03:57	一番下だとかで、多分全設計条件の前提として増えるという整理をしないといけなかったとこな気がします。はい。はい。社長勝衛藤
0:04:10	今おっしゃっていただいた整理で、おそらく本当できると思うんですが想定する落雷の規模が150ですだけじゃない、ないんですよこの設計条件としては、
0:04:21	あざに入れるとかそういう防護の、
0:04:24	条件がしっかり入っているからこそその、
0:04:29	150なので、想定する落雷の規模だけではないっていう認識で前回コメントしたんですが、
0:04:38	その辺はいかがですか。
0:04:44	はい、米田でございます。それであればおっしゃっていることはわかります。はい。コメントを受けてその反映がうまくなかったと思います。はい。おっしゃっていただいて10番で、配置設計をして収益等の保護範囲に入るもの云々、
0:04:59	話をして前提はこの9番の説明の話を具体的に展開するやつなので、そういった関係がわかるように、整理をしていければと思います。はい。
0:05:09	はい、規制庁です。よろしく願います。その10番なんですが、
0:05:13	えーとですね、ここはちょっと午前中の行った詳細は資料3で展開というふうに、
0:05:22	書いてあってで、結局ちょっと午前中、
0:05:25	まとめて回答があったんですが詳細の資料3で見解っていうふう書いてあって、
0:05:31	あるこれは、今回は
0:05:35	違うと、何かフォーマットのには間違いだっておっしゃった、はい。
0:05:42	とか、そういうものでは、
0:05:45	伸ばすものにこれをつけてきたってそういう意図だったんですか。
0:05:49	はい。野木ニシダでございます。
0:05:54	おそらくですね。
0:05:55	多分協定場所が、
0:05:59	強くてる気はするんですけど、
0:06:01	上行っている、

0:06:06	例の云々かんぬんって等って書いてるところ、これが多分全部を示してないので、詳細をと言ってるんですけどまず網羅的にまずあげないといけないっていうの。
0:06:16	頭の上に全部法令を並べているところが多分間違えて、そこも含めて関係性を整理していきたいと思いますはい。
0:06:25	はい。村長からお願いします。
0:06:28	藤さん中に、
0:06:31	4 ページ目、ナンバー11 の屋外機器配管のところ、
0:06:38	が、今回結構記載が充実したというところはあるんですが、
0:06:44	ですね最後の、
0:06:46	ところ。
0:06:48	最後のパーツ設計の最後の報通の意味があまりよくわからなくて、
0:06:53	やりたいことはわかるんですが、言葉として金属製の構築物の設計条件となることから、脳波位置情報、
0:07:01	設計情報は位置情報ってこれ何のことを、
0:07:06	示そうと思ってます。
0:07:14	はい。日本原燃土谷でございます。もう日本語ができてないですね。はい。単純にあれです。冷却塔が防護対象だとそれをネットで覆いますっていう設計を説明したっていうだけで、
0:07:25	はい。
0:07:28	教育しときますはい。はい。社長からです。その通りです。よろしくお願いします。
0:07:34	で、その 11 位で、屋外の機器配管のところ、直撃ラインが影響を受けない建屋内にっていうふう、他の建屋に配置する場合はどういう建屋、
0:07:46	だから大丈夫ということが書いてあるんですが、ここ直排気ラインの影響を受けない建屋ではないと思うんですね。
0:07:54	影響を受けるから例えばもう、
0:07:57	ちゃんと入る設計配慮すると思うんで、
0:07:59	ここは、他のケースと見比べながら、ちゃんと建屋はこういうふう、
0:08:05	なってるから大丈夫だということを展開して、
0:08:08	はい、弓削西田でございます。はい。大変失礼いたしました
0:08:14	おイデモリノの。
0:08:16	行動設計あれ、建物構築物あれそうですね 150 台なり直撃者に対するヒライ設備の設置ということをやっている建屋に入る、入ってるから大丈夫だと言ってるだけなので、
0:08:31	その関係を整理して、記載をしたいと思いますはい。

0:08:34	はい。成長過程で、そういう表現とかでわかりづらくなってるところがちょっとあったっていうところの例示ですのでまた確認する時そういう観点で、
0:08:45	見ていただければと思います。あと、Noす。
0:08:51	14
0:08:54	35 ページ。
0:08:57	ここが直撃以来の波及的影響。
0:09:03	これが来んで、結構丁寧に該当がないっていうことを示してもらっていて、
0:09:15	ですねMOXの第1回位。
0:09:19	ヒライ設備の健全性とか、そういう説明をしっかり受けてきたが、その他外傷の03海田03なんかで、
0:09:29	評価して説明されているんですが、
0:09:33	こちらはガイガイ14の表現を見ると、そういうことは評価で示すまでもないっていうような書き方になっていてで、その辺どういうふうに説明展開していきますかっていうところ。
0:09:47	はい。乳井イセイシダでございますちょっと私も記憶が若干ちょっとあやしいですけど、ガイドさんでやったのが、もともと支配木藤の方に入っちはいるものの、支払い等、共用設備として期待するののかという議論になる。
0:10:04	いやもう僕としては期待をしませんと、270直撃受けても大丈夫なように設計しますと、いうことを説明して、
0:10:14	であれば、建築基準法でJ-R管に基づいてやると、もうそのヒライ設備自体が272本当にもつのかということの説明をしたいということで、外来ゲノサンを作ったような記憶があるんですけど。
0:10:29	それとの関係で今回150や270の方に入るやつが、大部分だということに対して、
0:10:39	どう説明することがあるかということかなと思いますはい。
0:10:44	はい。政調会、同じ考え方や、
0:10:47	今伺って、結局、
0:10:51	270米州排気塔とかを説明するにしても、
0:10:59	主排気塔も避雷設備ついていてソネヒライスズキの健全性なんかで、結局示せるようなこともあってですね、ヒライ設備は大丈夫なら、
0:11:10	もちろん大丈夫でしょうがあると思うんで、そういうところの評価なのかなと思っております。はい。はい。乳井ニシダでございます。

0:11:21	どっちかという法令報告で実際ドローン飛ばして以来設備見てみて、電源書けませんね大丈夫だったってところ外部頭に強いので、何か評価するかっていうとなかなか難しいなという気もするんですけど。
0:11:34	ちょっと具体の設計として何か語らないといけないことが本当はないのか、評価することがないのかは整理をします。はい。はい。ツツミ笠野。
0:11:44	外観的に大丈夫でもあったし、温度的に大丈夫です、温度的なものは評価で、
0:11:51	1回の時は説明を聞いていましたので、そのことを伺う。
0:11:56	なんですね、ここの温度上昇はわずかでありってところなんかもありますので、
0:12:04	はい、承知いたしましたはい。
0:12:06	はい。正当化です。あと35ページ、75は、もっと前言ってなってますが、結構定義丁寧なことが結構書いてあるのでその辺はしっかり、
0:12:19	してくださいというところ。
0:12:21	また、再確認の時に、
0:12:24	そういうところが全体的に確認してください。あと、
0:12:27	36ページ目外来16の、
0:12:32	ここが冒頭制限になってると、違和感があって、直撃来幅は、
0:12:38	具体的には一ベップNo.10ですかね。
0:12:42	は、設計方針としてちゃんと展開していて、
0:12:46	菅さんは個々具体的には冒頭1000件になっているんですが、
0:12:51	具体的には
0:12:53	本設計方針が結構強い基本設計方針とっていて、要はその耐ハイ木藤が間接ラインに対して、ちゃんと
0:13:04	雷撃電流の伝播経路となるものを、
0:13:11	炉外しないようにちゃんと設置設計までいきますよってということが求められているとっていて、だからこそその竜巻防護対策設備、
0:13:21	下の方にべたべたつけたら悪影響がありますねっていうような話をしていたというふうにしたんですが、
0:13:28	ここはす、どういう整理になりますか。
0:13:42	はい。宮城ニシダでございます。ここももうちょっとそういう整理をします。もともとは17、18で、激励。
0:13:52	ていうのかなと20ナカとは思っていながらおっしゃっていただいているこの雷撃電流は拡散及び分離をする過程で生じ、雷サージの侵入及び伝播経路を考慮していうところですね。
0:14:06	この関係の設計上の配慮ということが、何らか説明する必要はないのかということも含めて、はい。整理をしたいと思います。

0:14:19	なんでこれ冒頭宣言したんだよ。
0:14:21	いや、第1回できてんのか、第1回でやってやってたぞ。
0:14:26	はい。ちょっと、過去どうしたかも含めて提示をしていきたいと思いません。はい。
0:14:31	お願いします。あと何か17。
0:14:36	ここは、
0:14:39	電話通算オムの話があってで、この3呉っているのは結局どういうふう
0:14:45	に、 担保していくのかなということは聞いてなかったんですが、何か考えてあるんです。
0:14:53	抵抗で接地抵抗設定の3を、
0:14:57	は、
0:14:58	どういうふうを担当していくのかっていうことで、はい、日本イシダでござ
0:15:13	いますちょっと確認をした上で、私の基地を家でもあれか、そのあとに設置もふやしてんだよな。
0:15:24	雷サービスみたいな過去やっているのそれで接地網からの接地抵抗の関係を測ったりをしているところはそれぐらいかし、
0:15:28	試験としてのエビデンスはないかなと思っていて、 あとはそれを拡大なりすることによってそれ以上抵抗が下がるんだという
0:15:35	ことの説明なのかなと思ってましたはい。 はい、規制庁カサオカありました。そういう材料あると。で、何かデータ
0:15:45	みたいな話で、こっちは、佐治大学の 3キロボールと、
0:15:47	今、
0:15:48	第1回でもちょっと聞いたんですがここは評価で、
0:15:53	ちゃんと材料があったような気がするんですが、
0:15:56	評価的なところは、
0:16:00	はい、日本イシダでございませこれ、確かちょっと記憶ですけど270
0:16:09	に対するサージ電圧を、 法令報告でも評価をして、どの規模の
0:16:17	何だっけな、床がきかをつければいいかっていうのは、評価していたと
0:16:27	思うので、そ令和使えるかなと思ってますはい。 はい。確認していますので、そういうところを、
0:16:33	担保としての評価。
0:16:35	が入ってくるのかなと思っています。
0:16:38	うん。

0:16:39	あとナンバー22で、これ前は、確認した上でだと思んですが、結局間接ラインの波及的影響に関しては、
0:16:51	この屋内の配慮だけでいいというふうに整理されたとまずそういうことでよろしいですか。
0:17:01	はい。二本木イソダでございますはい。まずは整理としてはそういうことでさせていただきます。はい。はい。平瀬。
0:17:10	屋外にあって、落雷法対象設備と分離するもの。
0:17:17	は、屋内にあるからそういう整理になってそういう説明展開でも、
0:17:23	基本的には説明し切れるっていうそう考えられてるということです。
0:17:29	はい、乳井末田でございます。考慮すべき対象のところをどう整理するかというところで、アノヒライ設備自体屋外にありますけど、訓練しなきゃいけない対象は、すべて屋内にあるものを、に対して考えればいいということで、
0:17:43	この中で整理できるかなと思ってました。はい。
0:17:46	はい、わかりました。そういう設計展開をしていく上で、特にそれで足りてるかというところを確認していきたいと思います。落雷に関しては私からは以上なんですが他、規制庁側から確認等ありますでしょうか。
0:18:05	特にないようでしたら、引き続き、38ページ目からのその他の項、ちょっと幾つか確認させていただきます。
0:18:13	打つ、
0:18:16	手法的な話ではあると思んですが前回建屋の胆汁建屋と、あと内部希望設備がある建屋の書き分けなんか、ちゃんと
0:18:26	配慮してできていますかみたいなことを伺って
0:18:30	ですね、次、実際その辺の整理っていうのはちゃんとできているという認識でまずよろしいですか。
0:18:46	できてますけど、42ページで建屋外に出てんでもう壊滅的な気もしないでもないです。はい。はい。結構、国内の話で、
0:18:57	屋外にある安全建屋が抜けてるとか、あと43ページ目で、
0:19:05	ナンバー23の生物学的、
0:19:08	衣装の建屋、これは何の建屋なのか、多分1ポツ目と2ポツ目で、それぞれよ、対象とする建屋が何か、
0:19:20	どうなのかなっていうのがあったり、ナンバー24を、
0:19:25	結局これはどっちの手や他に対しての要求なのかっていうようなところとか、少しその辺は明確化が必要かなと思いましたので、よろしくお願ひします。
0:19:37	はい、二本木瀬谷でございます承知いたしました。
0:19:41	正当化ですであと42ページ目のところなんかでも、結構まだ等が、

0:19:48	残っていたりして先ほど他の事象でも結構等がある、あったというところですが、78 個、凍結、
0:19:58	ぺえええ。
0:20:00	と。
0:20:03	屋内のシステム設計の吸気ユニット等、これはちゃんと整理できてるんですよ。
0:20:23	一応からお話の前に、はい。あと整理できてますかという質問です。はい。
0:20:30	できてますか。はい。ちょっと。
0:20:34	休憩、ダテ金使うと救急にとってそういうことに入れる発電機が加熱機、
0:20:41	向こう休憩棟インダでございますディーゼル発電機のところだけ加熱機になるので、そこを崩せば等がなくなると。
0:20:53	ということでそこも事実関係も含めて整理しておきますはい。はい。そういうところがやっぱり、資料 3 の中で展開していくとき、類型の考え方を持って説明していく中では、
0:21:07	大事だと思いますんで、アノ等はできるだけ受けるところはしっかり見ていただいて、泊行っていただければと思います。
0:21:15	あと 42 ページ目からの、
0:21:20	建屋内に収納する設計っていうのが各事情でコウ。
0:21:25	建屋のことを整理する。
0:21:28	預金にアノタテヤノでしょうという。
0:21:32	ところは屋内のものは全部コウな。先ほどの落雷でも同じですが、どういう観点から建屋内で、
0:21:42	運をするっていう観点はちゃんと書いてください。
0:21:47	はい。乳井ニシダでございます。いたしました。はい。
0:21:51	多分書いてる人も難しかったんだろうなと。かくかく前に、凍結に対して耐えられる建屋内に収納する設計って確保、建屋が凍結に耐えられるって設計を説明しないとイケないんですけど。
0:22:05	今、
0:22:07	金子金戸はいけるよねだって航空機でもカネダ、アノウノに耐えられるのに 37 度に耐えられないわけだよね。
0:22:15	やっぱコンクリートの強度でイケない。マイナス 20 など、
0:22:20	休憩に入金があるやに終了しますか。
0:22:25	救急隊員が入ってる建屋に収納しますって言っちゃったら危ないやついるんじゃない。
0:22:33	いやだから、マイナス 27 年度で 25.7 だったっけ。

0:22:38	直接受けなくてもいいっていうことを説明したいんじゃないのか、建屋の中のって。
0:22:44	こっちにちょっとこれやれ、うん。
0:22:48	ていうことを考えた建屋側に何か書かなきゃいけないってことなんだよね。でも例えば普通に立ってたように決まってるでしょって話。
0:22:56	はい。逃げニシダでございます整理して、記載を展開したいと思います。はい。はい。それちょっと今の凍結の外部事象防護対象施設になってるタテ訳。
0:23:06	使って外抜けてるっていうのもさっきのその辺の議論の中だと思いますので、
0:23:13	やっぱり何、外部事象防護対象施設はってなったら、何かを書かなきゃいけないと思うんで常識的なところだと思いますが、チットブックと、こういう議論になっちゃいますので、
0:23:25	くりいけばいいんじゃないかなと思いますけど耐えれないとは誰も持ってない話ですので、
0:23:37	ウ、No.19 のオクはい。
0:23:47	これ、小コウ連の、
0:23:49	今回安全冷却水冷却とだけが出てきたんですが、
0:23:56	設計は寄ってこれだけなんでしょうか。
0:24:13	はい、乳井西田でございます。これ
0:24:17	機能との関係で説明しなきゃいけないのが冷却塔だと言ってただけなので、他にも静的構造物に行きたい。当たり前ですけど、所属でできるオオモトでしょうっていうのも含めて、
0:24:29	エントリーした上で、説明を展開するのかなと思いますので、そこは整理して記載を追加なりしていきたいと思います。はい。
0:24:38	はい。規制庁岡ですよろしくお願いします。クボ 21 ページ、ナンバー 21。
0:24:46	ここは積雪に対する要求が基本設計方針の方は、
0:24:53	事務と、あといろんなスケールですね、値、風速に対する設置のあるんですが、説明の方が荷重だけになっていて、ただ、他にも飛ばしてるっていうこともあってここは、
0:25:06	どういう整理になってるんですか。
0:25:16	はい、日本インダでございます。そうですねちょっと整理をしますおっしゃっていただいてる
0:25:23	今日の話は、かがんに包絡されるのでカガワに触れて、キー
0:25:33	とはいえ、うん。パターンでやったような、第 1 回でき、

0:25:38	冬の高さを、高配当積雪と合わせ技でやってるから、火山で合わせてやったような気もしてて、そうするとここに※で書くのが荷重の話じゃないだけじゃなくて、
0:25:50	また書きもみんな振りますっていう説明にしないと合わない。
0:25:54	うん。
0:25:56	うん。
0:25:58	言うにあんた、アカサカ名倉。
0:26:02	考えて書いているか。
0:26:04	はい、乳井瀬谷でございます。はい。ちょっとまた金所のケアが※で同じように、カガワ 2 分であれば、それも含めて※書きで展開をするということで、整理
0:26:15	はい。はい、どうぞよろしく申し上げます。あと最後に 15 番、TRPの、
0:26:23	ところで、ここはちょっと事実確認というか、
0:26:27	劣等。
0:26:29	屋外の、
0:26:31	施設の設計で書いている受電開閉設備の、
0:26:35	絶縁を保つため通常運転の一環として洗浄を行うことってこれ、どういう設計配慮というか、どういうメカニズムでバス、
0:26:44	洗浄を行うんですか。
0:26:51	はい。日本原燃江田でございます。それをシステム設計で説明するかっていう気はしないでもないですけど、定期的に水が出て
0:27:00	検量できるようになってるっていうだけですか。はい。はい、規制庁河津アノわかりました。
0:27:08	はい。
0:27:09	はい、課長わかりました。
0:27:12	きっと今言ったようなところサンプル的なところでもあるので、もうちょっと確認が必要かなと思いますので、よろしく申し上げます。私からは以上なんですけど、他その他外傷、
0:27:23	規制庁側から確認お願いします。
0:27:27	規制庁の荒井です。
0:27:30	細かい点で、先ほどの 1819 の建屋内っていうのはどのような建屋っていうのをちゃんと表示していただくとともに、
0:27:39	19 番はシステム設計で、先ほどダンパが抜けてるよねっていうお話と同じように、
0:27:47	換気風量を確保するための送風機って書いてあるんですけど。はい。排風機って必要ないんですけど。

0:27:54	はい。乳井弊社でございますここはですね安重になって送風機だけを期待してたと思うので、これどちらかというと押し込みだけで、流量に対して、空気を送ると。
0:28:07	ということで設計を担保しているものになります。
0:28:10	ここはダイゴ酸化物貯蔵建屋っていうのはそういう設計になってることですね。
0:28:16	はい。日本イシダでございます。おっしゃっていただいている通りです。と、建屋自体には排気設備であるんですけど、崩壊熱除去に期待してるのは、どちらかと送風機だけを期待してるということです。
0:28:29	はい。
0:28:30	その時に、そういう、
0:28:32	前段とかにある、前段とか附属するチラーみたいなところのやつと違って、期待してないんですけど。
0:28:45	日本原燃志田でございます。冷却みたいな特にしなかったと思うので単純に普通の空気を取り込んで、送付してるだけだったと記憶してます。はい。
0:28:55	わかりましたそれであれば送風機でいいと思います。
0:28:59	それで続いて、ガイシュ 20 番ですね、20 番、降水の対策で、
0:29:05	建物構築物の構造設計の中に、
0:29:08	建屋の貫通部の止水処理とか、開口部の高さとか、これちょっと溢水側で書いているようなものと、
0:29:17	あと雨水が廃止、主排気塔や侵入しがたいところとか、
0:29:22	書いているんですが何か、火山の方で、苦情部の防水対策と違って書いてあったんですけど、それって降水のほうには出てこないんですか。
0:29:38	基本設計方針通りでいうと、出てこないってだけで、
0:29:42	実際上は出てくる。
0:29:47	はい、日本イシダでございます実態上は当然外に置いているもので、紡織みみたいなやっているので、単純に今は、
0:29:56	そうですね。
0:29:59	まだいろんな保護構造を有してるって言うから、それも含めて防水処置と同じじゃない。
0:30:07	でも機能自体が別に構造体がいいんじゃないから、アノんな、何株って言うだけで、
0:30:20	COCOコード粒度が必要でもないから、
0:30:26	火山でササキなんかあったよね。
0:30:28	宮脇と。
0:30:33	うん。

0:30:34	3、3 ページ。
0:30:40	41 番とか、
0:30:46	ですかね。
0:30:47	1、
0:30:50	だからそうですよね何とかタテ横。
0:31:01	41 を、建屋は抜きをする。
0:31:08	塗装していないの。
0:31:10	国にしても、はい。
0:31:13	ちょっと確認した上で、はい。整理します。はい。はい。
0:31:20	その他は特に以上です。
0:31:28	規制庁課です。この資料他、
0:31:31	規制庁側から確認なければ、この資料は終わりとして次水位に移りたいと思いますヤマグチさんお返しします。
0:31:39	山口です。それでは溢水について、
0:31:47	こちらから、
0:31:50	N以下、
0:31:52	はい。日本原燃の高井でございます追加の説明事項はございません。はい。
0:31:57	それでは確認したいと思います。午前中言った通り種をちゃんと明確に っていうのとあとこれまでの話で、
0:32:06	要求のところちゃんとメッシュとかも、他と合わせてっていうそういったと ころは含めて全体は整理していただければと思うんですけども。
0:32:16	ちょっとあんまり細かい話は、
0:32:19	聞き直していただけるとして、
0:32:24	確認、
0:32:26	ナンバー12。
0:32:30	6 ページで、No.12 で、
0:32:33	ちょっと午前中話したように、主語が不明確っていうところにもちょっと関 連するんですけども、
0:32:39	イトウNo.12 で、想定はその溢水量 1 スゲノ設定の基本設計方針があっ て、配置設計の括弧書きで、
0:32:51	(1)に 3 番目ですけどアクセス通路部の設定については、基本設計方 針No. 23 で展開するっていうことで、アクセス通路部後その展開先の 23 番では、
0:33:04	屋内機器配管。
0:33:07	建物構築物溢水対策設備っていうその枠で説明がされてるんですけど も、

0:33:14	ちょっとそのアクセス通路部って結局食う設備分類妥当どれに、
0:33:20	該当するのかっていうのが、
0:33:24	確認しときたいなっていうところなんですけども、この辺りって、どういう整理になってますでしょうか。
0:33:34	はい。日本原燃の高谷でございます。
0:33:39	アクセス通路部に関しましては、建物構築区画を経路を構成する建物構築物、あとは屋内機器配管等生まれると思っておりますが、
0:33:52	そこをこちらでも明確にできていないところ、記載もできていませんので、改めて整理をさせていただきたいと思います基本的には区画の整理ということで建物構築物、
0:34:05	とあとその対策の屋内機器配管がメインになると考えております。以上です。
0:34:12	成長ヤマグチです。
0:34:14	藤。
0:34:15	ちょっと再処理のグループ設定のところにもちょっと書か悪う
0:34:21	ですけど、溢水は結局のところグループ2として、一斉に関わるものももうそこで、そのグループで一式説明されるくらいのイメージなので、
0:34:34	漏れっていうところで
0:34:36	ないのかもしれない最初は明確にして欲しいなっていうところで、
0:34:41	とりあえず、とてもの構築物、屋内機器配管っていうところに、
0:34:46	での説明対象っていうことでわかりましたの種を明確にということでは整理いただければと思います。
0:34:55	等、
0:34:56	等、
0:34:57	なんですけども、
0:35:02	ちょっと何。
0:35:03	21、あと投資。
0:35:06	右下9ページのNo.21のその他の溢水について、
0:35:10	井清の資料全体的に結構詳細化していただいて大分読みやすわかりやすくなったかなと思ってるんですけど、このその他の溢水、
0:35:20	の枠っていうのは、この基本設計方針に書かれてる通り、事象としては、もういろいろ入ってて地下水の流入、
0:35:30	飛来物投入タンクの破損と木戸蓮樹損傷人的過誤操作、誤操作っていうので結構いろいろ入ってるんですけどもその展開がちょっと、
0:35:40	一つ一つ具体的にちゃんと展開されてないなっていうこの枠、そういう印象でして、
0:35:49	例えばで言うと、

0:35:52	配置設計
0:35:54	ぐらい機器配管の配置設計っていうと、
0:35:59	デポジションなんか並べて、それとの位置関係に関する設計っていうことだけしか書かれてないんですけど、この辺り一つ一つちゃんと何を説明しようとしてるかっていうのって整理できてますでしょうか。
0:36:17	はい。日本原燃高谷でございます。21番のところの事象一つ一つ今整理しておりますが、こちらの方でまとめて
0:36:30	慣例的にちょっと記載してしまっていたところがございます。
0:36:34	なので一つ一つの設計項目について展開、ブレイクをして記載をさせていただきたいなというふうに考えております。はい。
0:36:45	規制庁山口です。整理はされてるってことであればそれをちょっとブレイクして、
0:36:50	書いていただいてってことで今配置設計とかで言いましたけど評価のところでも、
0:36:56	よくそれぞれの者に対して評価する。
0:37:01	推量水源評価する、
0:37:04	具体的には後ろのナンバー26以降の、
0:37:09	没水被水蒸気影響の評価及び防護方針のところには飛ばされてるんですけども、
0:37:17	本当にこれは、
0:37:19	それぞれ例、今その元の添付申請書の添付資料とカー読むと、
0:37:27	機器ドレン機器損傷は想定破損の溢水量流量溢水量溢水量上回らないっていうことで、そこに、
0:37:36	結局はイソダ破損で含まれます。
0:37:38	評価としては含まれますよっていうようなことを書かれてたので、
0:37:44	それは多分、実際ナンバー2627で、想定破損の溢水量も、結局そこに入れているのです。展開先としては、
0:37:54	いいと思うんですけども、
0:37:56	例えば人的過誤とかは、発生の未然防止を図る運用手順を確実に遵守しますっていう。
0:38:05	そういう話が、添付書類に書かれてて、
0:38:09	そういうのもちゃんとは増え、発行されてると思うんですけどもちゃんとイメージした上でここ書かれてるのかなっていうのは気になるので、
0:38:19	ブレイクして本当に飛ばし先っていうのを明確にしていただければなと思うので、
0:38:24	お願いします。
0:38:28	はい。日本原燃の高でございます承知いたしました。

0:38:31	で、
0:38:34	あと
0:38:38	ナンバー20 さあんで、
0:38:41	ナンバー23 は区画の設定、経路の設定の話で、対象としては設備分類の対象として右側三つってことなんですけど、
0:38:53	この屋外の話でいうと、結局その屋外で発生する溢水については今の現、
0:39:01	もともと聞いてた元の方針でいうと、
0:39:05	局所評価とか、
0:39:08	屋外の溢水の一定方向への流れを考慮したような評価はないっていう方針になってたと、そういう説明があったと思ってて、だからその屋外は特に経路や区画の、
0:39:20	設定っていう考慮はないからバーン、
0:39:23	つまりやってるの。
0:39:25	かなあと思うんですけど、結局個別タスクなんか、個別の論点として説明しないって言ってた話って何個かあると思うんですけどもその辺りって結局今、
0:39:37	原燃内で政治中で、
0:39:40	何時。
0:39:42	その説明しようとしてるかとかって何か検討とかされてますかね結局そこもはっきりしていかないと説明項目っていうのも関連してしまうので、
0:39:53	整理状況、何か検討してれば、
0:39:56	いかがですか。
0:40:05	はい。日本原燃の高井でございます。現状の整理としてはこの後にある33番34番というところで屋外の建屋の流入防止、あと屋外の対象設備に対する評価というところで、
0:40:21	全体は野瀬、整理、説明をするというふうに考えております。その中には21番その他溢水の中にある屋外のタンク、
0:40:31	から水量というところも含まれてそこでご説明をするという形で考えておりました。その子、そこで局所評価の有無とか、そういうところをあわせてご説明する。
0:40:44	計画でございます。以上でございます。
0:40:49	支店長山内です。
0:40:51	何ですかね、職種表カーの必要性だとか、
0:40:58	他で言うと、
0:41:02	どうなんか。
0:41:03	藤。

0:41:06	応援、
0:41:07	申し積との、何かもともとその対応方針の資料で個別の論点として挙げた。
0:41:14	谷津館を、結局、
0:41:16	いつ具体説明しようとしてるかっていう点もちょっとお聞きしたんですけども、それは、
0:41:24	進め方資料とかでもあんまり最近は見ないことも踏まえると、
0:41:30	ちょっと検討はそこまでできてないって感じなんですか。
0:41:45	はい、日本のタカヤでございます。
0:41:50	今をさ、ちょっと最近お出しできてないんですが、対応方針でも記載をさせていただいてる通り、資料 234、図の中で個別の内容については、
0:42:03	きちんと補足説明資料等で説明しますという形で
0:42:10	言及してるのが今の対応方針でございます。そ、個別の説明というところを、
0:42:17	の準備は行っておりますので説明の時期とかいうところは、少し社内でも相談をしてですね、改めてご回答させていただきたいなというふうに考えております。以上でございます。
0:42:31	はい。規制庁山口です仲本は共通 12 の前に整理し、
0:42:36	したいとかも話もあつたんですけど、結局は
0:42:39	共通順位の中で展開しても足りないところはフィードバックかけるっていう話もあるので、その中で説明するっていうような、
0:42:51	検討になってるのかなっていう。今話聞くとちょっとそういうふうに思いましたのでまた進め方とかで聞ければいいかなって思いますので、お願いし認識はしておいていただければお願いします。
0:43:05	あと、最後 1 点なんですけども、
0:43:08	10 ページのNo.26、
0:43:12	ですねこっから
0:43:15	各溢水影響に対するその評価及び防護設計方針の項目に入るんですけども、この 26 は没水影響に対する評価及び防護設計方針っていう枠で、
0:43:28	今
0:43:31	ここからの展開としては屋内屋外機器配管で、
0:43:36	向後大翔への評価に向けての言葉出されてるんですけど、
0:43:42	そこ基本設計方針を読むと、真ん中辺りでマターで、壁貫通部止水処置を含むとか、
0:43:52	うん。

0:43:53	防水扉等での流入防止の対策だとか漏えい検知器の溢水量を低減する対策っていうこの、
0:44:01	対策設備によって対策するっていうような設計も、基本設計方針にここ書かれてるんですね。
0:44:08	で、これが結局のところナンバー26だと対策設備の欄がパーになってて、
0:44:15	今展開されてないようにも見えるんですけどもでも一方でここにかかる、ナンバー26に書かれてることって結局、そのさらに前段のところで溢水量溢水への設定とかで
0:44:27	考慮されてることが展開されてっていうことだとは思んですけども、
0:44:33	結局、基本設計方針から何を対象に、
0:44:37	上げていくかっていうのって、この辺りどういう整理で作業されてるか。
0:44:42	説明いただけますか。
0:44:46	はい。日本原燃の高井でございます。今おっしゃって最後におっしゃっていただいた通りですねタキのところはこの26番からあと展開されて今、今はしていません。
0:44:59	その理由といたしましては言っていた通り上段のですね、例えばNo.12と23というところで、漏えい検知とかですね、防水扉等の設置に関しては3742.アノ展開しますと。
0:45:14	いう形で、今説明しておりますので、もう事前に飛ばしてるものを、こちらの26番で受け取っているということなんであえてドア飛ばしていなかったのが今の現状でございます。以上でございます。
0:45:27	はい。木瀬。
0:45:30	内野ヤマグチです現状としてはわかりました。ちょっと午前中話もあったんですけども、結局その基本設計方針からまず分類に何を
0:45:43	上げるかっていうところでは午前中石原さんからは出てくるものをもれなくまず挙げた上でっていうような、はい。
0:45:53	伴案も出てたとは思んですけど、
0:45:57	結局、ここで書かれてるけどウマエで上げてるから、特にこの欄で展開しませんっていうことだとそれが本当に漏れなく前段で展開されてる。
0:46:08	挙げられてるかどうかっていうところが、この資料からではちょっと見えない今原燃内でチェックした上で、
0:46:15	チェックはされてるのかもしれないんですけども、
0:46:19	もれなく再抽出するっていう作業においてやっぱりその対応する基本設計方針に挙げられてる対象っていうのはやっぱりその欄で挙げさせていただいた方がいいのかなと思う呉とは思ってます。

0:46:32	なので午前中の話も踏まえてちょっと整理いただければと思うので、検討をよろしくお願いします。
0:46:41	はい。日本原燃の高谷でございます承知いたしました。確かに基本設計方針で書かれていながらここから展開していないというところが漏れ、抜け漏れがあるのかなのかというのが不明確になってますのでそこは記載の方法をちょっと整理したいと思います。
0:46:57	はい。
0:46:57	規制庁山口です。
0:47:00	ちょっと
0:47:02	大きな点として大きくもないかもしれないですよ、確認したかった点としてはこれくらいなので、当溢水については他もし規制庁側からあれば、
0:47:13	はい。
0:47:14	いえませ。よろしければ、衛藤。
0:47:17	これで今日予定してた項目は、
0:47:22	終わりました。
0:47:24	で、
0:47:26	午前中に大枠の話をして午後はそれぞれの事実確認というところでもあったんですけども、
0:47:34	通して原燃側から振り返り簡単にで、結構ですのでお願いします。
0:47:47	はい。
0:47:48	はい、峰板谷でございます。はい。
0:47:52	さあ、
0:47:53	ちょっと経路が違う、SA行くと、SAの方は、
0:47:59	まず添付施設ね、スタイル作り込むっていうところを前中盤の続きだと思ってます。
0:48:07	その中で、運用要求のブランドの立て方であったり、
0:48:14	セガワ等のDBとのコラボのところはまだ抜けているところ、特に操作性のところですね、この配慮ということをしなないといけないということだと思います。はい。
0:48:26	と、あとは、
0:48:29	後ろにつけた32条以降のやつはちょっと必要性も含めて全体、このSAF造成離席の考え方を整理して、作業を組み立てていきたいと思いません。はい。
0:48:44	という言葉ね。
0:48:46	14日後横軸で、37条、17条37条、在庫のところですね、上との関係も整理をするということで認識をしています。

0:48:57	はい。あとは、特に米のところ※2で書いてるところですね、※1※以下でコメント振込期間、米1で書いてるところの本文で3ページ以降書いてますが、
0:49:08	基本は1.ベッショナカで網羅的に挙げてそのあまりを、本文の比較ということで整理を進めていくということだと思ってます。
0:49:22	竜巻なんか、イシグロさん。
0:49:25	話したいことはありますか。
0:49:28	特になければ全体で言ってますけど、
0:49:32	2本県の石黒です。各その項目ごとにいろいろコメントはいただいて、そちらについてはもう把握しているので、あえて紹介する必要ないかなとは思っております。以上です。
0:49:46	はい。与儀理事長でございます。設計項目のB側の整理については、まだまだ基本設計方針との対なる設計を、設計項目を挙げた上で必要なものを挙げた上で、設計として資料3を作り込むという、
0:50:02	ことを念頭に、この段階でどういうことかと、三田。
0:50:08	人が何を設計としてウタが理解できるかと、いうことを考えて、整理を進めたいと思います。はい。
0:50:16	別のことについてはここいろいろいただきまして特に外部火災の力あるバスも含めて整理を進めたいと思います仕事の関係ですね何を対象にしているのか。
0:50:28	結局どういう設計をしたいと思っているのかというところを、
0:50:33	2ページしながら展開をするということだと認識をしています。
0:50:37	はい。
0:50:40	溢水は何かありますか。
0:50:44	はい。日本原燃の高でございます。全体的に設計を、
0:50:51	吉井、
0:50:52	はい。全体として設計説明分類とか手法というところが不明確なところ特に例であったアクセス通路部の設計説明分類とか、そういうところの整理というところが、
0:51:04	不明確なところがありましたんでそこを整理していくってところが、全体としてのコメントでその上であと個別説明についてどのタイミングでどうやっていかっていうところは、社内で相談した上では、お示しいたいというところでございます。以上でございます。
0:51:26	規制庁ヤマグチですとすりゃあと全体を通してほか規制庁が、何かありますでしょうか。
0:51:34	藤県令和も特によろしいでしょうか。

0:51:39

はい。大丈夫です。はい。それではこれで本日のヒアリングを終了しますので録音停止、